

1 この科目の構成について

教科	国語	科目	現代文B	単位	4	単位
対象コース	カレッジ	コース	対象クラス	3年	1	組文
使用教科書	高等学校 改訂版 現代文B (第一学習社)					
使用副教材	イラストとネットワークで覚える 現代文単語 げんたん 改訂版 大学入試共通テスト国語対策問題集					

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について (改行は Alt + Enter)

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか (1) 近現代のすぐれた文章を読み、ゆたかな鑑賞力と柔軟な表現力の育成を目指します。正確な知識と客観的な読解のもと、「書く力」「話す力」を養い、総合的な国語力を磨きます。また、現代社会に潜む様々な問題について多角的に考える力を高めます。 (2) 分量の多い難解な文章の読解にも取り組んでいくことで、大学入試共通テストなどの大学入試にも対応できる、高度な読解力を養います。
学習内容：この科目で学習する大まかな内容 (1) 現代の評論文…客観的思考力、問いに対して正確に答える能力を身につけます。 (2) 近現代の文学的な文章…すぐれた文学作品を読み解き、豊かな言語表現力を身につけます。 (3) 受験問題(大学入試共通テスト)レベルの読解力と解答時間のスピードアップを図るための、解法の技術を高めます。
学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか (1) 学校 ・授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。論の構造や展開を図式化し、まとめていきますので、論旨を整理してとらえたり、表現と趣旨との対応関係を把握したりするように努め、ノート記録を充実させましょう。問題文(口頭での質問も含む)の意図を読み取り、考え、答えを表現する方法を授業で体得しましょう。 ・授業担当者の話を聞くだけでは十分とは言えません。問いかけに対して意欲的に思案・吟味し、積極的に自分の意見を発表しましょう。自分で気がついたこと、感じたことは、授業の何よりの手柄です。みなさんの「気づき」が、文章を読み取る手がかりとなりますし、クラスメートと意見を共有することで、何倍も学習効果を高めることができます。 (2) 家庭 ・予習：教科書の本文を一読し、わからない語句の意味を調べておきましょう。 ・復習：授業のノートを振り返りながら、プリント等の宿題を確実に行ってください。納得のいくまでくりかえし課題文を読み、演習に取り組みましょう。知識を丸暗記するだけの学習では不適切です。正解した問題でも、もっと深く考えてみたり、知らない知識をチェックしたり、知識を問題に役立て使いこなす能力を鍛えることが重要です。

3 この科目の評価方法について

評価方法：何を使って評価するのか (1) 定期考査→年4回、定期考査を実施します。授業での学習内容から出題します。 (2) 授業用ノート→授業時の宿題、板書事項の内容について、提出期限内に点検・評価します。 (3) 長期休暇中の課題→現代文の演習問題を宿題として課します。 (4) 学期中の課題→授業理解の確認のため、プリント等の宿題を課します。	
評価における定期考査の割合	70 %

4 この科目の評価の観点について

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか (1) 関心・意欲・態度 ・問題を解決しようとする意欲、つまり考えようとする態度を重視します。 (2) 思考・判断 ・合理的であるか否かが評価の軸となります。恣意的な思考は評価しません。 (3) 技能・表現 ・口頭・文章ともに、受け手に配慮した簡明な表現であることを重視します。 (4) 知識・理解 ・定着度だけではなく、知識を得ようとする日常の取り組みを評価します。

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
1	4	評論（一） 「未来世代への責任」 岩井 克人  	論理的な文章を読む基礎的な技術の習熟を目指します。具体と抽象をふまえ、文章の論理展開を把握し、一般的な常識とは異なる筆者の主張を理解します。また、自分なりの意見を持ち、今後の考え方に反映させます。	●	●	●	●	
	5	小説（一）「檸檬」 梶井 基次郎	短編小説を読む際の基本的姿勢を踏まえて、読解方法を習熟させます。小説の構造をふまえて、登場人物の心情の変化を捉えます。	●	●	●		
		評論（二） 「言語が見せる世界」 野矢 茂樹	論理的な文章を読む基礎的な技術の習熟を目指します。対比による文章の論理展開をふまえ、筆者の主張を理解します。またそれについて自分なりの意見を持ち、今後の考え方に反映させます。	●	●	●	●	
	6	詩 「足と心」中桐 雅夫 「冬の日」以倉 紘平 「自然の背後に隠れて居る」萩原 朔太郎	近・現代詩の優れた作品に親しみます。さまざまな技法、詩形、イメージ、レトリックを学びながらその中に織り込まれたさまざまな世界認識の方法や枠組みを学びます	●	●	●		
		評論（三） 「身体の個性」浜田 寿美男 「目に見える制度と見えない制度」中村 雄二郎 	論理的な文章を読み解くための基礎的な技術に習熟します。文章の論理展開の型を把握しながら筆者の主張を的確に読み取り、それをふまえながら自分なりの見解を持てるようにします。また、自明だと思われる事柄に対して、その自明性を問い直す高度な思考力を身につけます。	●	●	●	●	
	7	小説（二） 「舞姫」森 鴎外  	古典的な名作を読み、登場人物の心情の揺れに密着して小説を読む方法を学びます。語句の意味を正確にとらえ、明治文語文ならではの美しい描写や表現に触れることによって言語感覚をみがきます。	●	●	●	●	

1 この科目の構成について

教科	国語	科目	現代文B		単位	3	単位
対象コース	カレッジ	コース	対象クラス	3年	1	組理	
使用教科書	高等学校 改訂版 現代文B (第一学習社)						
使用副教材	イラストとネットワークキングで覚える 現代文単語 げんたん 改訂版 大学入試共通テスト国語対策問題集						

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

<p>学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか</p> <p>(1) 近現代のすぐれた文章を読み、ゆたかな鑑賞力と柔軟な表現力の育成を目指します。正確な知識と客観的な読解のもと、「書く力」「話す力」を養い、総合的な国語力を磨きます。また、現代社会に潜む様々な問題について多角的に考える力を高めます。</p> <p>(2) 分量の多い難解な文章の読解にも取り組んでいくことで、大学入試共通テストなどの大学入試にも対応できる、高度な読解力を養います。</p>
<p>学習内容：この科目で学習する大まかな内容</p> <p>(1) 現代の評論文…客観的思考力、問いに対して正確に答える能力を身につけます。</p> <p>(2) 近現代の文学的文章…すぐれた文学作品を読み解き、豊かな言語表現力を身につけます。</p> <p>(3) 受験問題(大学入試共通テスト)レベルの読解力と解答時間のスピードアップを図るための、解法の技術を高めます。</p>
<p>学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか</p> <p>(1) 学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。論の構造や展開を図式化し、まとめていきますので、論旨を整理してとらえたり、表現と趣旨との対応関係を把握したりするように努め、ノート記録を充実させましょう。問題文(口頭での質問も含む)の意図を読み取り、考え、答えを表現する方法を授業で体得しましょう。 ・授業担当者の話を聞くだけでは十分とは言えません。問いかけに対して意欲的に思案・吟味し、積極的に自分の意見を発表しましょう。自分で気がついたこと、感じたことは、授業の何よりの手柄です。みなさんの「気づき」が、文章を読み取る手がかりとなりますし、クラスメートと意見を共有することで、何倍も学習効果を高めることができます。 <p>(2) 家庭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予習：教科書の本文を一読し、わからない語句の意味を調べておきましょう。 ・復習：授業のノートを振り返りながら、プリント等の宿題を確実に行ってください。納得のいくまでくりかえし課題文を読み、演習に取り組みましょう。知識を丸暗記するだけの学習では不適切です。正解した問題でも、もっと深く考えてみたり、知らない知識をチェックしたり、知識を問題に応じて使いこなす能力を鍛えることが重要です。

3 この科目の評価方法について

<p>評価方法：何を使って評価するのか</p> <p>(1) 定期考査→年4回、定期考査を実施します。授業での学習内容から出題します。</p> <p>(2) 授業用ノート→授業時の宿題、板書事項の内容について、提出期限内に点検・評価します。</p> <p>(3) 長期休暇中の課題→現代文の演習問題を宿題として課します。</p> <p>(4) 学期中の課題→授業理解の確認のため、プリント等の宿題を課します。</p>
<p>評価における定期考査の割合</p> <p>70 %</p>

4 この科目の評価の観点について

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

- (1) 関心・意欲・態度
・問題を解決しようとする意欲、つまり考えようとする態度を重視します。
- (2) 思考・判断
・合理的であるか否かが評価の軸となります。恣意的な思考は評価しません。
- (3) 技能・表現
・口頭・文章ともに、受け手に配慮した簡明な表現であることを重視します。
- (4) 知識・理解
・定着度だけではなく、知識を得ようとする日常の取り組みを評価します。

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか

学期	月	学習の項目	学習の内容	重視する評価の観点				CHECK ○△×
				関	思	技	知	
1	4	評論（一） 「未来世代への責任」 岩井 克人  	論理的な文章を読む基礎的な技術の習熟を目指します。具体と抽象をふまえ、文章の論理展開を把握し、一般的な常識とは異なる筆者の主張を理解します。また、自分なりの意見を持ち、今後の考え方に反映させます。	●	●	●	●	
	5	小説（一）「檸檬」 梶井 基次郎	短編小説を読む際の基本的姿勢を踏まえて、読解方法を習熟させます。小説の構造をふまえて、登場人物の心情の変化を捉えます。	●	●	●		
		評論（二） 「言語が見せる世界」 野矢 茂樹	論理的な文章を読む基礎的な技術の習熟を目指します。対比による文章の論理展開をふまえ、筆者の主張を理解します。またそれについて自分なりの意見を持ち、今後の考え方に反映させます。	●	●	●	●	
	6	詩 「足と心」中桐 雅夫 「冬の日」以倉 紘平 「自然の背後に隠れて居る」萩原 朔太郎	近・現代詩の優れた作品に親しみます。さまざまな技法、詩形、イメージ、レトリックを学びながらその中に織り込まれたさまざまな世界認識の方法や枠組みを学びます	●	●	●		
		評論（三） 「身体の個別性」浜田 寿美男 「目に見える制度と見えない制度」中村 雄二郎 	論理的な文章を読み解くための基礎的な技術に習熟します。文章の論理展開の型を把握しながら筆者の主張を的確に読み取り、それをふまえながら自分なりの見解を持てるようにします。また、自明だと思われる事柄に対して、その自明性を問い直す高度な思考力を身につけます。	●	●	●	●	
	7	小説（二） 「舞姫」森 鴎外  	古典的な名作を読み、登場人物の心情の揺れに密着して小説を読む方法を学びます。語句の意味を正確にとらえ、明治文語文ならではの美しい描写や表現に触れることによって言語感覚をみがきます。	●	●	●	●	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
2	8	評論（五） 「『である』ことと『する』こと」	論理的な文章の構成・論の展開を正確に把握して、大意や要旨を的確に理解する力を身につけます。また、現代社会に生きる市民として、どのようにあるべきかについて、自らの考えを深めます。	●	●	●	●	
	9	丸山 真男						
		小説（三） 「枯野抄」芥川 龍之介	完成度の高い短編小説を読むことで、表現の機微、効果的な文章表現、語り手と語りの方、文体などについての理解を深めます。死を媒介にした他者との関係が描かれた作品を読むことで、生や死の意味・意義、他者との関係についての思考力や想像力を高めます。	●	●		●	
		道徳						
	10	入試対策問題演習	問題集を用いた演習を行い、大学入試共通テストおよび大学入試に対応できる読解力の完成を目指します。知識を各問題に応じて適切に使いこなし、マーク式では正解を導き、記述式では正確な解答を作成する力を身につけます。	●	●	●	●	

1 この科目の構成について

教科	国語	科目	現代文B		単位	4	単位
対象コース	カレッジ	コース	対象クラス	3年	2	組	
使用教科書	高等学校 改訂版 現代文B (第一学習社)						
使用副教材	イラストとネットワークで覚える 現代文単語 げんたん 改訂版 大学入試共通テスト国語対策問題集						

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

<p>学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか</p> <p>(1) 近現代のすぐれた文章を読み、ゆたかな鑑賞力と柔軟な表現力の育成を目指します。正確な知識と客観的な読解のもと、「書く力」「話す力」を養い、総合的な国語力を磨きます。また、現代社会に潜む様々な問題について多角的に考える力を高めます。</p> <p>(2) 分量の多い難解な文章の読解にも取り組んでいくことで、大学入試共通テストなどの大学入試にも対応できる、高度な読解力を養います。</p>
<p>学習内容：この科目で学習する大まかな内容</p> <p>(1) 現代の評論文…客観的思考力、問いに対して正確に答える能力を身につけます。</p> <p>(2) 近現代の文学的な文章…すぐれた文学作品を読み解き、豊かな言語表現力を身につけます。</p> <p>(3) 受験問題(大学入試共通テスト)レベルの読解力と解答時間のスピードアップを図るための、解法の技術を高めます。</p>
<p>学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか</p> <p>(1) 学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。論の構造や展開を図式化し、まとめていきますので、論旨を整理してとらえたり、表現と趣旨との対応関係を把握したりするように努め、ノート記録を充実させましょう。問題文(口頭での質問も含む)の意図を読み取り、考え、答えを表現する方法を授業で体得しましょう。 ・授業担当者の話を聞くだけでは十分とは言えません。問いかけに対して意欲的に思索・吟味し、積極的に自分の意見を発表しましょう。自分で気がついたこと、感じたことは、授業の何よりの手柄です。みなさんの「気づき」が、文章を読み取る手がかりとなりますし、クラスメートと意見を共有することで、何倍も学習効果を高めることができます。 <p>(2) 家庭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予習：教科書の本文を一読し、わからない語句の意味を調べておきましょう。 ・復習：授業のノートを振り返りながら、プリント等の宿題を確実に行ってください。納得のいくまでくりかえし課題文を読み、演習に取り組みしましょう。知識を丸暗記するだけの学習では不適切です。正解した問題でも、もっと深く考えてみたり、知らない知識をチェックしたり、知識を問題に応じて使いこなす能力を鍛えることが重要です。

3 この科目の評価方法について

<p>評価方法：何をを使って評価するのか</p> <p>(1) 定期考査→年4回、定期考査を実施します。授業での学習内容から出題します。</p> <p>(2) 授業用ノート→授業時の宿題、板書事項の内容について、提出期限内に点検・評価します。</p> <p>(3) 長期休暇中の課題→現代文の演習問題を宿題として課します。</p> <p>(4) 学期中の課題→授業理解の確認のため、プリント等の宿題を課します。</p>
<p>評価における定期考査の割合</p> <p>70 %</p>

4 この科目の評価の観点について

<p>評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか</p> <p>(1) 関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題を解決しようとする意欲、つまり考えようとする態度を重視します。 <p>(2) 思考・判断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合理的であるか否かが評価の軸となります。恣意的な思考は評価しません。 <p>(3) 技能・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口頭・文章ともに、受け手に配慮した簡明な表現であることを重視します。 <p>(4) 知識・理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定着度だけでなく、知識を得ようとする日常の取り組みを評価します。

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
1	4	評論（一） 「未来世代への責任」 岩井 克人  	論理的な文章を読む基礎的な技術の習熟を目指します。具体と抽象をふまえ、文章の論理展開を把握し、一般的な常識とは異なる筆者の主張を理解します。また、自分なりの意見を持ち、今後の考え方に反映させます。	●	●	●	●	
	5	小説（一）「檸檬」 梶井 基次郎 評論（二） 「言語が見せる世界」 野矢 茂樹	短編小説を読む際の基本的姿勢を踏まえて、読解方法を習熟させます。小説の構造をふまえて、登場人物の心情の変化を捉えます。 論理的な文章を読む基礎的な技術の習熟を目指します。対比による文章の論理展開をふまえ、筆者の主張を理解します。またそれについて自分なりの意見を持ち、今後の考え方に反映させます。	●	●	●		
	6	詩 「足と心」中桐 雅夫 「冬の日」以倉 紘平 「自然の背後に隠れて居る」萩原 朔太郎 評論（三） 「身体の個別性」浜田 寿美男 「目に見える制度と見えない制度」中村 雄二郎 	近・現代詩の優れた作品に親しみます。さまざまな技法、詩形、イメージ、レトリックを学びながらその中に織り込まれたさまざまな世界認識の方法や枠組みを学びます 論理的な文章を読み解くための基礎的な技術に習熟します。文章の論理展開の型を把握しながら筆者の主張を的確に読み取り、それをふまえながら自分なりの見解を持てるようにします。また、自明だと思われる事柄に対して、その自明性を問い直す高度な思考力を身につけます。	●	●	●	●	
	7	小説（二） 「舞姫」森 鴉外  	古典的な名作を読み、登場人物の心情の揺れに密着して小説を読む方法を学びます。語句の意味を正確にとらえ、明治文語文ならではの美しい描写や表現に触れることによって言語感覚をみがきます。	●	●	●	●	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
2	8	評論（五） 「『である』ことと『する』こと」	論理的な文章の構成・論の展開を正確に把握して、大意や要旨を的確に理解する力を身につけます。また、現代社会に生きる市民として、どのようにあるべきかについて、自らの考えを深めます。	●	●	●	●	
	9	丸山 真男						
			小説（三） 「枯野抄」芥川 龍之介	完成度の高い短編小説を読むことで、表現の機微、効果的な文章表現、語り手と語りの方、文体などについての理解を深めます。死を媒介にした他者との関係が描かれた作品を読むことで、生や死の意味・意義、他者との関係についての思考力や想像力を高めます。	●	●		●
		道徳						
	10	入試対策問題演習	問題集を用いた演習を行い、大学入試共通テストおよび大学入試に対応できる読解力の完成を目指します。知識を各問題に応じて適切に使いこなし、マーク式では正解を導き、記述式では正確な解答を作成する力を身につけます。	●	●	●	●	

1 この科目の構成について

教科	国語	科目	現代文B	単位	3 単位
対象コース	カレッジ	コース	対象クラス	3 年	2 組
使用教科書	高等学校 改訂版 現代文B (第一学習社)				
使用副教材	イラストとネットワークで覚える 現代文単語 げんたん 改訂版 大学入試共通テスト国語対策問題集				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標 ：この科目を学習して何を身につけてほしいのか (1) 近現代のすぐれた文章を読み、ゆたかな鑑賞力と柔軟な表現力の育成を目指します。正確な知識と客観的な読解のもと、「書く力」「話す力」を養い、総合的な国語力を磨きます。また、現代社会に潜む様々な問題について多角的に考える力を高めます。 (2) 分量の多い難解な文章の読解にも取り組んでいくことで、大学入試共通テストなどの大学入試にも対応できる、高度な読解力を養います。
学習内容 ：この科目で学習する大まかな内容 (1) 現代の評論文…客観的思考力、問いに対して正確に答える能力を身につけます。 (2) 近現代の文学的な文章…すぐれた文学作品を読み解き、豊かな言語表現力を身につけます。 (3) 受験問題(大学入試共通テスト)レベルの読解力と解答時間のスピードアップを図るための、解法の技術を高めます。
学習方法 ：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか (1) 学校 ・授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。論の構造や展開を図式化し、まとめていきますので、論旨を整理してとらえたり、表現と趣旨との対応関係を把握したりするように努め、ノート記録を充実させましょう。問題文(口頭での質問も含む)の意図を読み取り、考え、答えを表現する方法を授業で体得しましょう。 ・授業担当者の話を聞くだけでは十分とは言えません。問いかけに対して意欲的に思案・吟味し、積極的に自分の意見を発表しましょう。自分で気がついたこと、感じたことは、授業の何よりの手柄です。みなさんの「気づき」が、文章を読み取る手がかりとなりますし、クラスメートと意見を共有することで、何倍も学習効果を高めることができます。 (2) 家庭 ・予習：教科書の本文を一読し、わからない語句の意味を調べておきましょう。 ・復習：授業のノートを振り返りながら、プリント等の宿題を確実に行ってください。納得のいくまでくりかえし課題文を読み、演習に取り組みましょう。知識を丸暗記するだけの学習では不適切です。正解した問題でも、もっと深く考えてみたり、知らない知識をチェックしたり、知識を問題に応じて使いこなす能力を鍛えることが重要です。

3 この科目の評価方法について

評価方法 ：何をを使って評価するのか (1) 定期考査→年4回、定期考査を実施します。授業での学習内容から出題します。 (2) 授業用ノート→授業時の宿題、板書事項の内容について、提出期限内に点検・評価します。 (3) 長期休暇中の課題→現代文の演習問題を宿題として課します。 (4) 学期中の課題→授業理解の確認のため、プリント等の宿題を課します。
評価における定期考査の割合 70 %

4 この科目の評価の観点について

評価の観点 ：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか (1) 関心・意欲・態度 ・問題を解決しようとする意欲、つまり考えようとする態度を重視します。 (2) 思考・判断 ・合理的であるか否かが評価の軸となります。恣意的な思考は評価しません。 (3) 技能・表現 ・口頭・文章ともに、受け手に配慮した簡明な表現であることを重視します。 (4) 知識・理解 ・定着度だけでなく、知識を得ようとする日常の取り組みを評価します。

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
1	4	評論（一） 「未来世代への責任」 岩井 克人  	論理的な文章を読む基礎的な技術の習熟を目指します。具体と抽象をふまえ、文章の論理展開を把握し、一般的な常識とは異なる筆者の主張を理解します。また、自分なりの意見を持ち、今後の考え方に反映させます。	●	●	●	●	
	5	小説（一）「檸檬」 梶井 基次郎 評論（二） 「言語が見せる世界」 野矢 茂樹	短編小説を読む際の基本的姿勢を踏まえて、読解方法を習熟させます。小説の構造をふまえて、登場人物の心情の変化を捉えます。 論理的な文章を読む基礎的な技術の習熟を目指します。対比による文章の論理展開をふまえ、筆者の主張を理解します。またそれについて自分なりの意見を持ち、今後の考え方に反映させます。	●	●	●		
	6	詩 「足と心」中桐 雅夫 「冬の日」以倉 紘平 「自然の背後に隠れて居る」萩原 朔太郎 評論（三） 「身体の個別性」浜田 寿美男 「目に見える制度と見えない制度」中村 雄二郎 	近・現代詩の優れた作品に親しみます。さまざまな技法、詩形、イメージ、レトリックを学びながらその中に織り込まれたさまざまな世界認識の方法や枠組みを学びます 論理的な文章を読み解くための基礎的な技術に習熟します。文章の論理展開の型を把握しながら筆者の主張を的確に読み取り、それをふまえながら自分なりの見解を持てるようにします。また、自明だと思われる事柄に対して、その自明性を問い直す高度な思考力を身につけます。	●	●	●	●	
	7	小説（二） 「舞姫」森 鷗外  	古典的な名作を読み、登場人物の心情の揺れに密着して小説を読む方法を学びます。語句の意味を正確にとらえ、明治文語文ならではの美しい描写や表現に触れることによって言語感覚をみがきます。	●	●	●	●	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
2	8	評論（五） 「『である』ことと『する』こと」	論理的な文章の構成・論の展開を正確に把握して、大意や要旨を的確に理解する力を身につけます。また、現代社会に生きる市民として、どのようにあるべきかについて、自らの考えを深めます。	●	●	●	●	
	9	丸山 真男						
		小説（三） 「枯野抄」芥川 龍之介	完成度の高い短編小説を読むことで、表現の機微、効果的な文章表現、語り手と語り手の方法、文体などについての理解を深めます。死を媒介にした他者との関係が描かれた作品を読むことで、生や死の意味・意義、他者との関係についての思考力や想像力を高めます。	●	●		●	
		道徳						
	10	入試対策問題演習	問題集を用いた演習を行い、大学入試共通テストおよび大学入試に対応できる読解力の完成を目指します。知識を各問題に応じて適切に使いこなし、マーク式では正解を導き、記述式では正確な解答を作成する力を身につけます。	●	●	●	●	

1 この科目の構成について

教科	国語	科目	現代文B		単位	4	単位
対象コース	カレッジ	コース	対象クラス	3年	3	組	
使用教科書	高等学校 改訂版 現代文B (第一学習社)						
使用副教材							

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標 ：この科目を学習して何を身につけてほしいのか (1) 近現代のすぐれた文章を読み、ゆたかな鑑賞力と柔軟な表現力の育成を目指します。正確な知識と客観的な読解のもと、「書く力」「話す力」を養い、総合的な国語力を磨きます。また、現代社会に潜む様々な問題について多角的に考える力を高めます。 (2) 分量の多い難解な文章の読解にも取り組んでいくことで、大学入試共通テストなどの大学入試にも対応できる、高度な読解力を養います。
学習内容 ：この科目で学習する大まかな内容 (1) 現代の評論文…客観的思考力、問いに対して正確に答える能力を身につけます。 (2) 近現代の文学的な文章…すぐれた文学作品を読み解き、豊かな言語表現力を身につけます。 (3) 受験問題(大学入試共通テスト)レベルの読解力と解答時間のスピードアップを図るための、解法の技術を高めます。
学習方法 ：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか (1) 学校 ・授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。論の構造や展開を図式化し、まとめていきますので、論旨を整理してとらえたり、表現と趣旨との対応関係を把握したりするように努め、ノート記録を充実させましょう。問題文(口頭での質問も含む)の意図を読み取り、考え、答えを表現する方法を授業で体得しましょう。 ・授業担当者の話を聞くだけでは十分とは言えません。問いかけに対して意欲的に思案・吟味し、積極的に自分の意見を発表しましょう。自分で気がついたこと、感じたことは、授業の何よりの手柄です。みなさんの「気づき」が、文章を読み取る手がかりとなりますし、クラスメートと意見を共有することで、何倍も学習効果を高めることができます。 (2) 家庭 ・予習：教科書の本文を一読し、わからない語句の意味を調べておきましょう。 ・復習：授業のノートを振り返りながら、プリント等の宿題を確実に行ってください。納得のいくまでくりかえし課題文を読み、演習に取り組みましょう。知識を丸暗記するだけの学習では不適切です。正解した問題でも、もっと深く考えてみたり、知らない知識をチェックしたり、知識を問題に応じて使いこなす能力を鍛えることが重要です。

3 この科目の評価方法について

評価方法 ：何をを使って評価するのか (1) 定期考査→年4回、定期考査を実施します。授業での学習内容から出題します。 (2) 授業用ノート→授業時の宿題、板書事項の内容について、提出期限内に点検・評価します。 (3) 長期休暇中の課題→現代文の演習問題を宿題として課します。 (4) 学期中の課題→授業理解の確認のため、プリント等の宿題を課します。
評価における定期考査の割合 70 %

4 この科目の評価の観点について

評価の観点 ：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか (1) 関心・意欲・態度 ・問題を解決しようとする意欲、つまり考えようとする態度を重視します。 (2) 思考・判断 ・合理的であるか否かが評価の軸となります。恣意的な思考は評価しません。 (3) 技能・表現 ・口頭・文章ともに、受け手に配慮した簡明な表現であることを重視します。 (4) 知識・理解 ・定着度だけでなく、知識を得ようとする日常の取り組みを評価します。

5 この科目の学習計画について (改行は Alt + Enter)

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
1	4	評論（一） 「未来世代への責任」 岩井 克人  	論理的な文章を読む基礎的な技術の習熟を目指します。具体と抽象をふまえ、文章の論理展開を把握し、一般的な常識とは異なる筆者の主張を理解します。また、自分なりの意見を持ち、今後の考え方に反映させます。	●	●	●	●	
	5	小説（一）「檸檬」 梶井 基次郎	短編小説を読む際の基本的姿勢を踏まえて、読解方法を習熟させます。小説の構造をふまえて、登場人物の心情の変化を捉えます。	●	●	●		
	6	評論（二） 「言語が見せる世界」 野矢 茂樹	論理的な文章を読む基礎的な技術の習熟を目指します。対比による文章の論理展開をふまえ、筆者の主張を理解します。またそれについて自分なりの意見を持ち、今後の考え方に反映させます。	●	●	●	●	
	7	詩 「足と心」中桐 雅夫 「冬の日」以倉 紘平 「自然の背後に隠れて居る」萩原 朔太郎	近・現代詩の優れた作品に親しみます。さまざまな技法、詩形、イメージ、レトリックを学びながらその中に織り込まれたさまざまな世界認識の方法や枠組みを学びます	●	●		●	
	8	評論（三） 「身体の個別性」浜田 寿美男 「目に見える制度と見えない制度」中村 雄二郎 	論理的な文章を読み解くための基礎的な技術に習熟します。文章の論理展開の型を把握しながら筆者の主張を的確に読み取り、それをふまえながら自分なりの見解を持てるようにします。また、自明だと思われる事柄に対して、その自明性を問い直す高度な思考力を身につけます。	●	●	●	●	
	9	小説（二） 「舞姫」森 鷗外  	古典的な名作を読み、登場人物の心情の揺れに密着して小説を読む方法を学びます。語句の意味を正確にとらえ、明治文語文ならではの美しい描写や表現に触れることによって言語感覚をみがきます。	●	●	●	●	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
2	10	評論（四） 「句を切る」長谷川 権	論理的な文章の構成・論の展開を正確に把握して、大意や要旨を的確に理解する力を身につけます。また、抽象的な表現、比喻表現、具体と抽象、例示と考察、対比と類比などを文脈に即して正確に読み取る力を高めます。	●	●	●	●	
	11	小説（三） 「枯野抄」芥川 龍之介 	完成度の高い短編小説を読むことで、表現の機微、効果的な文章表現、語り手と語りの方、文体などについての理解を深めます。死を媒介にした他者との関係が描かれた作品を読むことで、生や死の意味・意義、他者との関係についての思考力や想像力を高めます。	●	●		●	
	12 1	評論（五） 「『である』ことと『する』こと」 丸山 真男	論理的な文章の構成・論の展開を正確に把握して、大意や要旨を的確に理解する力を身につけます。また、現代社会に生きる市民として、どのようにあるべきかについて、自らの考えを深めます。	●	●	●	●	

1 この科目の構成について

教科	国語	科目	現代文B	単位	3	単位
対象コース	カレッジ	コース	対象クラス	3年	3組	理MC
使用教科書	高等学校 現代文B (第一学習社)					
使用副教材	3ステップオリジナル問題集 錬成現代文 改訂版 (尚文出版)					

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか
(1) 近現代のすぐれた文章を読み、豊かな鑑賞力と柔軟な表現力の育成を目指します。正確な知識と客観的な読解のもと、「書く力」「話す力」を養い、総合的な国語の力を磨きます。また、現代社会に潜む様々な問題について多角的に考える力を高めます。
(2) 分量の多い難解な文章の読解にも取り組んでいくことで、大学入試共通テストなどの大学入試にも対応できる、高度な読解力を養います。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容
(1) 現代の評論文…客観的思考力、問いに対して正確に答える能力を身につけます。
(2) 近現代の文学的な文章…すぐれた文学作品を読み解き、豊かな言語表現力を養います。
(3) 受験問題(大学入試共通テスト)レベルの読解力と解答時間のスピードアップを図るための、解法の技術を高めます。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか
(1) 学校
・授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。論の構造や展開を図式化し、まとめていきますので、論旨を整理してとらえたり、表現と趣旨との対応関係を把握したりするように努め、ノートでの記録を充実させましょう。問題文(口頭での質問も含む)の意図を読み取り、考え、答えを表現する方法を授業で体得しましょう。
・授業担当者の問いかけに対して意欲的に思案・吟味し、積極的に自分の意見を発表しましょう。自分で気がついたこと、感じたことなどの「気づき」が文章を読み取る手がかりとなりますし、他の人と意見を共有することで、何倍も学習効果を高めることができます。
(2) 家庭
・予習：教科書の本文を一読し、わからない語句の意味を調べておきましょう。
・復習：授業のノートを振り返りながら、プリント等の宿題を確実に行ってください。納得のいくまでくりかえし課題文を読み、演習に取り組みましょう。習ったことをもっと深く考えてみたり、知らない知識をチェックしたり、知識を問題に応じて使いこなす能力を鍛えることが重要です。

3 この科目の評価方法について

評価方法：何を使って評価するのか
(1) 定期考査→年4回実施します。主に授業での学習内容から出題します。
(2) 授業用ノート→授業時の宿題、板書事項の内容について、回収して点検・評価します。
(3) 長期休暇中の課題→演習問題などを宿題として課します。
(4) 学期中の課題→授業理解の確認のため、プリント等の課題を出します。

評価における定期考査の割合
70 %

4 この科目の評価の観点について

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか
(1) 関心・意欲・態度
・問題を解決しようとする意欲、考えようとする態度を重視します。
(2) 思考・判断
・思考が合理的であるか客観的に判断しているかを見ます。
(3) 技能・表現
・口頭・文章ともに、受け手に配慮した簡明な表現であることを重視します。
(4) 知識・理解
・定着度だけでなく、知識を得ようとする日常の取り組みも評価します。

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
2	12	評論（四） 「リスク社会とは何か」 大澤真幸	科学が自明視していた想定崩壊や、人々の描いていた幻想の喪失など、現代のリスク社会が直面している状況を把握し、それらを自分の問題としてとらえます。難解な抽象語を理解して言い換えるには、豊富で正確な語彙の力や必要なことを確認します。	●	●	●	●	
3	1	小説（三） 「幼なじみたち」 遠藤周作	身辺雑記風の私小説が「小説」としてどのように構成されているか理解し、そのことと主題との関わりを考えます。生きることの多様な意味や価値を描いた小説の読解を通して、身近な他者理解に役立っています。					

1 この科目の構成について

教科	国語科	科目	現代文B		単位	3	単位
対象コース	美術	コース	対象クラス	3年	7	組	
使用教科書	高等学校 改訂版 現代文B (第一学習社)						
使用副教材	頻出 入試漢字コア2800 (桐原書店)						

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標 ：この科目を学習して何を身につけてほしいのか 近代のすぐれた文章を読み、ゆたかな鑑賞力と柔軟な表現力の育成を目指します。正確な知識と客観的な読解のもと、「書く力」「話す力」を養い、総合的な国語力を磨きます。また、現代社会に潜む様々な問題について多角的に考える力を高めます。
学習内容 ：この科目で学習する大まかな内容 以下の二つの分野を学びます。 (1) 現代の評論文…客観的思考力、問いに対して正確に答える能力を身につけます。 (2) 近現代の文学的文章…すぐれた文学作品を読み解き、豊かな言語能力を身につけます。
学習方法 ：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか (1) 学校 「考える手順」を身に付けることが最も大切です。正答に至るまでの思考の手順をノートに書きためましょう。問題文(口頭での質問も含む)の意図を読み取り、考え、答えを表現する方法を授業で体得していきましょう。 (2) 家庭 家庭学習の時間は、暗記とドリル学習にあてましょう。知識を定着させる場が家庭学習です。家庭で得た知識を用いて授業で思考することが、最も効果的な学習方法となります。

3 この科目の評価方法について

評価方法 ：何を使って評価するのか (1) 定期考査→年4回、定期考査を実施します。授業での学習内容から出題します。 (2) 授業用ノート→授業時の宿題、板書事項の内容について、提出期限内に点検・評価します。 (3) 長期休暇中の課題→現代文の演習問題を宿題として課します。 (4) 学期中の課題→授業理解の確認のため、プリント等の宿題を課します。
評価における定期考査の割合 70 %

4 この科目の評価の観点について

評価の観点 ：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか (1) 関心・意欲・態度 問題を解決しようとする意欲、つまり考えようとする態度を重視します。 (2) 思考・判断 合理的であるか否かが評価の軸となります。恣意的な思考は評価しません。 (3) 技能・表現 口頭・文章ともに、受け手に配慮した簡明な表現であることを重視します。 (4) 知識・理解 定着度だけでなく、知識を得ようとする日常の取り組みを評価します。

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
1	4	評論（一） 『未来世代への責任』 岩井 克人 	評論の論旨を正しくとらえ、従来の視点とは異なる筆者独自の主張を理解します。異文化や社会内の人間関係のあり方について、自分なりに意見を深め、文章で表現する力を養います。	●	●		●	○
	5	評論（二） 『言語が見せる世界』 長谷川 權 	二元論ではない論理構造をとらえ、普遍的と考えられてきた世界観が、実は虚構にすぎないということ、その背景について考察します。多元的な視点から真実を見極める柔軟な思考力を養います。	●			●	○
		詩 『足と心』 中桐 雅夫 『冬の日』 以倉 紘平 『自然の背後に隠れて居る』 萩原朔太郎	近代詩、現代詩の鑑賞のしかたを確認し、より深めていきます。近代詩や現代詩の中に織り込まれた、様々な世界認識の方法や枠組みについて学びます。	●		●	●	×
	6	評論（三） 『いのちのかたち』 西谷 修 	具体的な事柄を一般化していく課程を整理し、論理の展開を把握します。また、自己を取り巻く世界のありようについて広く関心を持つ姿勢を養い、今日の世界のありようについて理解する視座を持ちます。	●	●	●	●	○
	7	評論（四） 『身体の個別性』 浜田 寿美男 『目に見える制度と見えない制度』 中村 雄二郎 	文章の論理展開の型を把握しながら筆者の主張を的確に読み取り、それをふまえて自分なりの見解を持てるようにします。また、自明だと思われる事柄に対して、その自明性を問い直す高度な抽象的思考力を身につけます。	●	●	●	●	○
2	8							
	9	小説（一） 『枯野抄』 芥川 龍之介	表現の機微、効果的な文章表現、語り手と語り手の方法、文体などについての理解を深めます。死を媒介にした他社との関係が描かれた作品を読むことで、生や死の意味・意義、他者との関係についての思考力や想像力を高めます。	●	●		●	×
	10	評論（五） 『「である」ことと「する」こと』 丸山 真男 	哲学的・思想的な語句や概念的な表現などの意味を正確に理解し、語彙力、読解力の幅を広げます。分かりにくい表現を、前後の関係から理解し、筆者の主張を文脈に即しておさえる力を身に付けます。	●	●	●	●	○

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
	10	小説（二） 『舞姫』 森 鷗外	古典的な名作を読み、登場人物の心情の揺れに密着して小説を読む方法を学びます。語句の意味を正確にとらえ、明治文語文ならではの美しい描写や表現に触れることによって言語感覚をみがきます。	●	●		●	○
	11	入試対策問題演習	副教材を用いた演習を行い、入試に対応できる読解力の完成を目指します。ただの答え合わせになることのないよう、予習、復習を徹底し、解答作成までの手順を身に付けます。	●	●	●	●	○

1 この科目の構成について (改行は Alt + Enter)

教科	国語	科目	現代文B	単位	3 単位
対象コース	情報ビジネス	コース	対象クラス	3 年	6 組
使用教科書	高等学校 現代文B (第一学習社)				
使用副教材	3ステップオリジナル問題集 錬成現代文 改訂版 (尚文出版)				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について (改行は Alt + Enter)

学習目標 ：この科目を学習して何を身につけてほしいのか 近現代のすぐれた文章を読み、ゆたかな鑑賞力と柔軟な表現力の育成を目指します。正確な知識と客観的な読解のもと、「書く力」「話す力」を養い、総合的な国語力を磨きます。また、現代社会に潜む様々な問題について多角的に考える力を高めます。
学習内容 ：この科目で学習する大まかな内容 以下の二つの分野を学びます。 (1) 現代の評論文…客観的思考力、問いに対して正確に答える能力を身につけます。 (2) 近現代の文学的文章…すぐれた文学作品を読み解き、豊かな言語表現力を身につけます。
学習方法 ：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか (1) 学校 ・授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。正答に至るまでの思考の手順をノートに書きためましょう。論理的な思考で解答にたどりつく練習をすることで、思考力が高まります。問題文(口頭での質問も含む)の意図を読み取り、考え、答えを表現する方法を授業で体得していきましょう。 ・授業担当者の話を聞くだけでは十分とは言えません。問いかけに対して意欲的に思案・吟味し、積極的に自分の意見を発表しましょう。自分で気がついたこと、感じたことは、ノートに書き留めておきましょう。気づきを論理的にまとめることができるようになることで、より理解が深まります。 (2) 家庭 ・予習：教科書の本文を一読し、わからない語句の意味を調べておきましょう。 ・復習：暗記とドリル学習をしましょう。知識を定着させる場が家庭学習です。家庭で得た知識を用いて授業で思考することが、最も効果的な学習方法となります。

3 この科目の評価方法について (改行は Alt + Enter)

評価方法 ：何をを使って評価するのか (1) 定期考査→年4回、定期考査を実施します。授業での学習内容から出題します。 (2) 授業用ノート→授業時の宿題、板書事項の内容について、提出期限内に点検・評価します。 (3) 長期休暇中の課題→現代文の演習問題を宿題として課します。 (4) 学期中の課題→授業理解の確認のため、プリント等の宿題を課します。
評価における定期考査の割合 70 %

4 この科目の評価の観点について (改行は Alt + Enter)

評価の観点 ：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか (1) 関心・意欲・態度 ・問題を解決しようとする意欲、つまり考えようとする態度を重視します。 (2) 思考・判断 ・合理的であるか否かが評価の軸となります。恣意的な思考は評価しません。 (3) 技能・表現 ・口頭・文章ともに、受け手に配慮した簡明な表現であることを重視します。 (4) 知識・理解 ・定着度だけではなく、知識を得ようとする日常の取り組みを評価します。
--

5 この科目の学習計画について (改行は Alt + Enter)

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
1	4	評論(二) 「言語が見せる世界」 長谷川 権 	二元論ではない論理構造をとらえた上で、普遍的と考えられてきた世界観が、実は想像力によって紡ぎ出されていた一つの虚構にすぎないということと、その背景について考察します。多元的な視点から真実を見極める柔軟な思考力を養います。	●	●	●	●	○
	5	詩 「足と心」 中桐 雅夫 「冬の日」 以倉 紘平 「自然の背後に隠れて居る」 萩原朔太郎	近・現代詩の優れた作品に親しみます。さまざまな技法、詩形、イメージ、レトリックを学びながらその中に織り込まれたさまざまな世界認識の方法や枠組みを学びます	●	●		●	○ ○ ○
	6							
	7	評論(二) 「いのちのかたち」 西谷 修 	現代の評論を理解する上でお基礎となるテーマ、あるいは今日的な問題についての意識を深めます。生命倫理的な意味における「いのち」をどう捉えるか、物理化学的な一般論として扱われる「生命」とは異なる意味での生命について考え、「人間的」な生き方とは何なのか考察を深めます。	●	●	●	●	○
2	8	評論(三) 「身体の個別性」 浜田 寿美男 「目に見える制度と見えない制度」 中村 雄二郎 	論理的な文章を読み解くための基礎的な技術を身につけます。文章の論理展開の型を把握しながら筆者の主張を的確に読み取り、それをふまえながら自分なりの見解を持てるようにします。また、自明だと思われる事柄に対して、その自明性を問い直す高度な抽象的思考力を身につけます。	●	●	●	●	○ ×
	10	小説(三) 「枯野抄」 芥川 龍之介 	完成度の高い短編小説を読むことで、表現の機微、効果的な文章表現、語り手と語り手の方法、文体などについての理解を深めます。死を媒介にした他者との関係が描かれた作品を読むことで、生や死の意味・意義、他者との関係についての思考力や想像力を高めます。	●	●		●	○

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか

重視する評価の観点

CHECK

学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
	11	評論（五） 「である」と「する」こと 丸山 真男 	哲学的・思想的な語句や概念的な表現などの意味を正確に理解し、語彙力、読解力の幅を広げます。わかりにくい表現を、前後の文脈にある言葉との関係から理解し、筆者の主張を文脈に即して押さえる力を身につけます。	●	●	●	●	×
3	12 1	小説（二） 「舞姫」 森 鷗外  	古典的な名作を読み、登場人物の心情の揺れに密着して小説を読む方法を学びます。語句の意味を正確にとらえ、明治文語文ならではの美しい描写や表現に触れることによって言語感覚をみがきます。	●	●	●	●	○

1 この科目の構成について

教科	国語	科目	現代文B	単位	3	単位
対象コース	美術・情報ビジネス	コース	対象クラス	3年	5・6組	
使用教科書	高等学校 現代文B (第一学習社)					
使用副教材	3ステップオリジナル問題集 錬成現代文 改訂版 (尚文出版) 大学入試共通テスト国語対策問題集					

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

<p>学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか</p> <p>(1) 近現代のすぐれた文章を読み、豊かな鑑賞力と柔軟な表現力の育成を目指します。正確な知識と客観的な読解のもと、「書く力」「話す力」を養い、総合的な国語の力を磨きます。また、現代社会に潜む様々な問題について多角的に考える力を高めます。</p> <p>(2) 分量の多い難解な文章の読解にも取り組んでいくことで、大学入試共通テストなどの大学入試にも対応できる、高度な読解力を養います。</p>
<p>学習内容：この科目で学習する大まかな内容</p> <p>(1) 現代の評論文…客観的思考力、問いに対して正確に答える能力を身につけます。</p> <p>(2) 近現代の文学的な文章…すぐれた文学作品を読み解き、豊かな言語表現力を養います。</p> <p>(3) 受験問題 (大学入試共通テスト) レベルの読解力と解答時間のスピードアップを図るための、解法の技術を高めます。</p>
<p>学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか</p> <p>(1) 学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。論の構造や展開を図式化し、まとめていきますので、論旨を整理してとらえたり、表現と趣旨との対応関係を把握したりするように努め、ノートの記事を充実させましょう。問題文 (口頭での質問も含む) の意図を読み取り、考え、答えを表現する方法を授業で体得しましょう。 ・授業担当者の問いかけに対して意欲的に思索・吟味し、積極的に自分の意見を発表しましょう。自分で気がついたこと、感じたことなどの「気づき」が文章を読み取る手がかりとなりますし、他の人と意見を共有することで、何倍も学習効果を高めることができます。 <p>(2) 家庭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予習：教科書の本文を一読し、わからない語句の意味を調べておきましょう。 ・復習：授業のノートを振り返りながら、プリント等の宿題を確実に行ってください。納得のいくまでくりかえし課題文を読み、演習に取り組みましょう。習ったことをもっと深く考えてみたり、知らない知識をチェックしたり、知識を問題に応じて使いこなす能力を鍛えることが重要です。

3 この科目の評価方法について

<p>評価方法：何をを使って評価するのか</p> <p>(1) 定期考査→年4回実施します。主に授業での学習内容から出題します。</p> <p>(2) 授業用ノート→授業時の宿題、板書事項の内容について、回収して点検・評価します。</p> <p>(3) 長期休暇中の課題→演習問題などを宿題として課します。</p> <p>(4) 学期中の課題→授業理解の確認のため、プリント等の課題を出します。</p>
<p>評価における定期考査の割合</p> <p>70 %</p>

4 この科目の評価の観点について

<p>評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか</p> <p>(1) 関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題を解決しようとする意欲、考えようとする態度を重視します。 <p>(2) 思考・判断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思考が合理的であるか客観的に判断しているかを見ます。 <p>(3) 技能・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口頭・文章ともに、受け手に配慮した簡明な表現であることを重視します。 <p>(4) 知識・理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定着度だけでなく、知識を得ようとする日常の取り組みも評価します。
--

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
2	11	入試対策問題演習	問題集を用いた演習を行い、大学入試共通テストおよび大学入試に対応できる読解力の完成を目指します。知識を各問題に応じて適切に使いこなし、マーク式では正解を導き、記述式では正確な解答を作成する力を身につけます。	●	●	●	●	
	12							
3	1							
		以上の他に、表現力・語彙力をつけるための授業を実施します。						

1 この科目の構成について

教科	国語科	科目	古典B	単位	2 単位
対象コース	カレッジ	コース	対象クラス	3 年	1R 組
使用教科書	精選 古典B 改訂版 (大修館書店)				
使用副教材	体系古典文法 (数研出版) 新明説漢文 (尚文出版) シンプルスタイル 古文単語 301 (尚文出版) 入試につながる古文 (ランズ) 入試につながる漢文 (ランズ)				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標 ：この科目を学習して何を身につけてほしいのか 古典文法や漢文の句法を使いこなして、古文・漢文を読解する能力を養います。また、古典作品の読解を通して、先人のものの見方や感じ方を知り、広い考え方を身につけます。
学習内容 ：この科目で学習する大まかな内容 以下の二つの分野を学びます。 (1) 古文…正確な文語文法を習得し、語彙力を養うことによって、古文を読み解く力を身につけます。 (2) 漢文…訓読法・基本的な句法を使って、漢文を読み解く力を身につけます。
学習方法 ：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか (1) 学校 授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。正答に至るまでに必要な事項や思考の手順をノートに書きためましょう。なぜその答えになるのかということ論理的に捉えることが大切です。問題文(口頭での質問も含む)の意図を読み取り、考え、答えを表現する方法を授業で体得しましょう。 (2) 家庭 授業の予習と復習、暗記にあてましょう。知識を定着させる場が家庭学習です。予習や暗記をした知識を用いて授業内、で考えます。また、授業で得た知識を確実なものとするために、振り返りとして文法の暗記をしましょう。授業をとおして学んだことを用いて文章の内容を吟味できるようにしましょう。

3 この科目の評価方法について

評価方法 ：何を使って評価するのか (1) 定期考査→年4回、定期考査を実施します。授業での学習内容から出題します。 (2) 確認演習プリント→単元毎に本文内容のプリントを実施します。 (3) 学期中の課題→授業理解の確認のための宿題を課します。
評価における定期考査の割合 70 %

4 この科目の評価の観点について

評価の観点 ：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか (1) 関心・意欲・態度 問題を解決しようとする意欲、つまり考えようとする態度を重視します。
(2) 思考・判断 合理的であるか否かが評価の軸となります。恣意的な思考は評価しません。
(3) 技能・表現 口頭・文章ともに、受け手に配慮した簡明な表現であることを重視します。
(4) 知識・理解 定着度だけではなく、知識を得ようとする日常の取り組みを評価します。

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
		古文編Ⅱ 説話 古今著聞集 『源義家、衣川にて安倍貞任と連歌のこと』 	本文の読解を通じて、古文特有の語を理解し、合わせて必須の文法事項の習得を目指します。中世に作られた説話の魅力に触れ、現代まで読み継がれている要素やそれが生み出された背景などについても考え、古典文学に一層親しむ態度を育てます。	●	●	●	●	
		漢文編Ⅱ 逸話と寓話 『長安何如日遠』 『不死之薬』 	漢文の逸話や寓話に見られる機知に富んだやりとりを学び、その魅力を理解します。また発言や行為の内容を読み取り、その生き方や考え方を理解し、自らのものの見方、考え方を深める契機とします。	●	●	●	●	
		古文編Ⅱ 随筆枕草子 『うれしきもの』 	古来の随筆文学に触れ、その魅力を味わいます。語句・意味を正確に理解し、作者の機知に富んだ発想や柔軟な思考の展開の様子を鑑賞します。また、女流作家ならではのきめ細やかな感覚的な表現を理解し、作者の考えや心情の理解を目指します。	●	●	●	●	
		古文編Ⅱ 物語(1) 大鏡『三船の才』 	歴史物語としての特色である、簡潔で力強い文章を読み、作者の的確な描写と批判的な態度を読み取る。また、敬語の使い方から、登場人物の関係を正しく捉える。和歌の修辞の確認をする。	●	●	●	●	
		漢文編Ⅱ 史伝 荊軻 『(一) 風蕭蕭兮易水寒』 	長文の漢文に読み慣れ、読解・鑑賞する能力の増進を目指します。『史記』の文章表現の妙味やそこに用いられている故事成語などを理解し、言語感覚を豊かにします。	●	●	●	●	
		古文編Ⅱ 日記紫式部日記 『和泉式部と清少納言』 	「文学」としての日記文学に触れ、多様な語句の解釈や、女流作家ならではのきめ細やかな感覚的な表現を理解し、作者の考えや心情の理解を目指します。また、『蜻蛉日記』『和泉式部日記』にも合わせて触れ、その歴史的な背景や、『枕草子』『源氏物語』などの作品にどのような影響を与えたのかも合わせて学びます。	●	●	●	●	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
		漢文編Ⅱ 文章 韓愈『師説』 	中国の文学作品に親しみ、その文学的な表現を理解します。漢文特有の言い回し句形に習熟し、正確に読解する態度を養います。また、作者の思想や人生に対する深い洞察を読み取り、その人生観や人間性についても理解を深めます。	●	●	●	●	
		入試対策問題演習	副教材を用いた演習を行い、入試に対応できる読解力の完成を目指します。ただの答え合わせになることのないよう、予習、復習を徹底し、解答作成までの手順を身につけます。	●	●	●	●	

1 この科目の構成について

教科	国語科	科目	古典B	単位	3 単位
対象コース	カレッジ	コース	対象クラス	3 年	1B 組
使用教科書	精選 古典B 改訂版 (大修館書店)				
使用副教材	体系古典文法 (数研出版) 新明説漢文 (尚文出版) シンプルスタイル 古文単語 301 (尚文出版) 入試につながる古文 (ランズ) 入試につながる漢文 (ランズ)				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標 ：この科目を学習して何を身につけてほしいのか 古典文法や漢文の句法を使いこなして、古文・漢文を読解する能力を養います。また、古典作品の読解を通して、先人のものの見方や感じ方を知り、広い考え方を身につけます。
学習内容 ：この科目で学習する大まかな内容 以下の二つの分野を学びます。 (1) 古文…正確な文語文法を習得し、語彙力を養うことによって、古文を読み解く力を身につけます。 (2) 漢文…訓読法・基本的な句法を使って、漢文を読み解く力を身につけます。
学習方法 ：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか (1) 学校 授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。正答に至るまでに必要な事項や思考の手順をノートに書きためましょう。なぜその答えになるのかということ論理的に捉えることが大切です。問題文(口頭での質問も含む)の意図を読み取り、考え、答えを表現する方法を授業で体得しましょう。 (2) 家庭 授業の予習と復習、暗記にあてましょう。知識を定着させる場が家庭学習です。予習や暗記をした知識を用いて授業内、で考えます。また、授業で得た知識を確実なものとするために、振り返りとして文法の暗記をしましょう。授業をとおして学んだことを用いて文章の内容を吟味できるようにしましょう。

3 この科目の評価方法について

評価方法 ：何を使って評価するのか (1) 定期考査→年4回、定期考査を実施します。授業での学習内容から出題します。 (2) 確認演習プリント→単元毎に本文内容のプリントを実施します。 (3) 学期中の課題→授業理解の確認のための宿題を課します。
評価における定期考査の割合 70 %

4 この科目の評価の観点について (改行は Alt + Enter)

評価の観点 ：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか (1) 関心・意欲・態度 問題を解決しようとする意欲、つまり考えようとする態度を重視します。 (2) 思考・判断 合理的であるか否かが評価の軸となります。恣意的な思考は評価しません。 (3) 技能・表現 口頭・文章ともに、受け手に配慮した簡明な表現であることを重視します。 (4) 知識・理解 定着度だけでなく、知識を得ようとする日常の取り組みを評価します。

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
		古文編Ⅱ 説話 古今著聞集 『源義家、衣川にて安倍貞任と連歌のこと』 	本文の読解を通じて、古文特有の語を理解し、合わせて必須の文法事項の習得を目指します。中世に作られた説話の魅力に触れ、現代まで読み継がれている要素やそれが生み出された背景などについても考え、古典文学に一層親しむ態度を育てます。	●	●	●	●	
		漢文編Ⅱ 逸話と寓話 『長安何如日遠』 『不死之薬』 	漢文の逸話や寓話に見られる機知に富んだやりとりを学び、その魅力を理解します。また発言や行為の内容を読み取り、その生き方や考え方を理解し、自らのものの見方、考え方を深める契機とします。	●	●	●	●	
		古文編Ⅱ 随筆枕草子 『うれしきもの』 	古来の随筆文学に触れ、その魅力を味わいます。語句・意味を正確に理解し、作者の機知に富んだ発想や柔軟な思考の展開の様子を鑑賞します。また、女流作家ならではのきめ細やかな感覚的な表現を理解し、作者の考えや心情の理解を目指します。	●	●	●	●	
		古文編Ⅱ 物語(1) 大鏡『三船の才』 	歴史物語としての特色である、簡潔で力強い文章を読み、作者の的確な描写と批判的な態度を読み取る。また、敬語の使い方から、登場人物の関係を正しく捉える。和歌の修辞の確認をする。	●	●	●	●	
		漢文編Ⅱ 史伝 荊軻 『(一) 風蕭蕭兮易水寒』 	長文の漢文に読み慣れ、読解・鑑賞する能力の増進を目指します。『史記』の文章表現の妙味やそこに用いられている故事成語などを理解し、言語感覚を豊かにします。	●	●	●	●	
		古文編Ⅱ 日記紫式部日記 『和泉式部と清少納言』 	「文学」としての日記文学に触れ、多様な語句の解釈や、女流作家ならではのきめ細やかな感覚的な表現を理解し、作者の考えや心情の理解を目指します。また、『蜻蛉日記』『和泉式部日記』にも合わせて触れ、その歴史的な背景や、『枕草子』『源氏物語』などの作品にどのような影響を与えたのかも合わせて学びます。	●	●	●	●	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
		漢文編Ⅱ 文章 韓愈『師説』  入試対策問題演習	<p>中国の文学作品に親しみ、その文学的な表現を理解します。漢文特有の言い回し句形に習熟し、正確に読解する態度を養います。また、作者の思想や人生に対する深い洞察を読み取り、その人生観や人間性についても理解を深めます。</p> <p>副教材を用いた演習を行い、入試に対応できる読解力の完成を目指します。ただの答え合わせになることのないよう、予習、復習を徹底し、解答作成までの手順を身につけます。</p>	●	●	●	●	
				●	●	●	●	

1 この科目の構成について

教科	国語科	科目	古典B	単位	3	単位
対象コース	スーパーカレッジ	コース	対象クラス	3年	2B組	
使用教科書	精選 古典B 改訂版 (大修館書店)					
使用副教材	体系古典文法 (数研出版) 新明説漢文 (尚文出版) シンプルスタイル 古文単語 301 (尚文出版)					

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標 ：この科目を学習して何を身につけてほしいのか 古典文法や漢文の句法を使いこなして、古文・漢文を読解する能力を養います。また、古典作品の読解を通して、先人のものの見方や感じ方を知り、広い考え方を身につけます。
学習内容 ：この科目で学習する大まかな内容 以下の二つの分野を学びます。 (1) 古文…正確な文語文法を習得し、語彙力を養うことによって、古文を読み解く力を身につけます。 (2) 漢文…訓読法・基本的な句法を使って、漢文を読み解く力を身につけます。
学習方法 ：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか (1) 学校 授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。正答に至るまでに必要な事項や思考の手順をノートに書かためましょう。なぜその答えになるのかということを論理的に捉えることが大切です。問題文(口頭での質問も含む)の意図を読み取り、考え、答えを表現する方法を授業で体得しましょう。 (2) 家庭 授業の予習と復習、暗記にあてましょう。知識を定着させる場が家庭学習です。予習や暗記をした知識を用いて授業内、で考えます。また、授業で得た知識を確実なものとするために、振り返りとして文法の暗記をしましょう。授業をとおして学んだことを用いて文章の内容を吟味できるようにしましょう。

3 この科目の評価方法について

評価方法 ：何をを使って評価するのか (1) 定期考査→年4回、定期考査を実施します。授業での学習内容から出題します。 (2) 確認演習プリント→単元毎に本文内容のプリントを実施します。 (3) 学期中の課題→授業理解の確認のための宿題を課します。
--

4 この科目の評価の観点について

評価の観点 ：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか (1) 関心・意欲・態度 問題を解決しようとする意欲、つまり考えようとする態度を重視します。 (2) 思考・判断 合理的であるか否かが評価の軸となります。恣意的な思考は評価しません。 (3) 技能・表現 口頭・文章ともに、受け手に配慮した簡明な表現であることを重視します。 (4) 知識・理解 定着度だけでなく、知識を得ようとする日常の取り組みを評価します。

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか			重視する評価の観点				CHECK	
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
		古文編Ⅱ 説話 古今著聞集 『源義家、衣川にて安倍貞任と連歌のこと』 	本文の読解を通じて、古文特有の語を理解し、合わせて必須の文法事項の習得を目指します。中世に作られた説話の魅力に触れ、現代まで読み継がれている要素やそれが生み出された背景などについても考え、古典文学に一層親しむ態度を育てます。	●	●	●	●	
		漢文編Ⅱ 逸話と寓話 『長安何如日遠』 『不死之薬』 	漢文の逸話や寓話に見られる機知に富んだやりとりを学び、その魅力を理解します。また発言や行為の内容を読み取り、その生き方や考え方を理解し、自らのものの見方、考え方を深める契機とします。	●	●	●	●	
		古文編Ⅱ 随筆枕草子 『うれしきもの』 	古来の随筆文学に触れ、その魅力を味わいます。語句・意味を正確に理解し、作者の機知に富んだ発想や柔軟な思考の展開の様子を鑑賞します。また、女流作家ならではのきめ細やかな感覚的な表現を理解し、作者の考えや心情の理解を目指します。	●	●	●	●	
		古文編Ⅱ 物語(1) 大鏡『三船の才』 	歴史物語としての特色である、簡潔で力強い文章を読み、作者の的確な描写と批判的な態度を読み取る。また、敬語の用い方から、登場人物の関係を正しく捉える。和歌の修辞の確認をする。	●	●	●	●	
		漢文編Ⅱ 史伝 荊軻 『(一) 風蕭蕭兮易水寒』 	長文の漢文に読み慣れ、読解・鑑賞する能力の増進を目指します。『史記』の文章表現の妙味やそこに用いられている故事成語などを理解し、言語感覚を豊かにします。	●	●	●	●	
		古文編Ⅱ 日記紫式部日記 『和泉式部と清少納言』 	「文学」としての日記文学に触れ、多様な語句の解釈や、女流作家ならではのきめ細やかな感覚的な表現を理解し、作者の考えや心情の理解を目指します。また、『蜻蛉日記』『和泉式部日記』にも合わせて触れ、その歴史的な背景や、『枕草子』『源氏物語』などの作品にどのような影響を与えたのかも合わせて学びます。	●	●	●	●	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
		漢文編Ⅱ 文章 韓愈『師説』  入試対策問題演習	中国の文学作品に親しみ、その文学的な表現を理解します。漢文特有の言い回し句形に習熟し、正確に読解する態度を養います。また、作者の思想や人生に対する深い洞察を読み取り、その人生観や人間性についても理解を深めます。 副教材を用いた演習を行い、入試に対応できる読解力の完成を目指します。ただの答え合わせにならないよう、予習、復習を徹底し、解答作成までの手順を身につけます。	●	●	●	●	
				●	●	●	●	

1 この科目の構成について

教科	国語科	科目	古典B		単位	2	単位
対象コース	スーパーカレッジ	コース	対象クラス	3年	2R	組	
使用教科書	精選 古典B 改訂版 (大修館書店)						
使用副教材	体系古典文法 (数研出版) 新明説漢文 (尚文出版) シンプルスタイル 古文単語 301 (尚文出版)						

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

<p>学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか</p> <p>古典文法や漢文の句法を使いこなして、古文・漢文を読解する能力を養います。また、古典作品の読解を通して、先人のものの見方や感じ方を知り、広い考え方を身につけます。</p>
<p>学習内容：この科目で学習する大まかな内容</p> <p>以下の二つの分野を学びます。</p> <p>(1) 古文…正確な文語文法を習得し、語彙力を養うことによって、古文を読み解く力を身につけます。</p> <p>(2) 漢文…訓読法・基本的な句法を使って、漢文を読み解く力を身につけます。</p>
<p>学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか</p> <p>(1) 学校</p> <p>授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。正答に至るまでに必要な事項や思考の手順をノートに書かためましょう。なぜその答えになるのかということを論理的に捉えることが大切です。問題文(口頭での質問も含む)の意図を読み取り、考え、答えを表現する方法を授業で体得しましょう。</p> <p>(2) 家庭</p> <p>授業の予習と復習、暗記にあてましょう。知識を定着させる場が家庭学習です。予習や暗記をした知識を用いて授業内、で考えます。また、授業で得た知識を確実なものとするために、振り返りとして文法の暗記をしましょう。授業をとおして学んだことを用いて文章の内容を吟味できるようにしましょう。</p>

3 この科目の評価方法について

<p>評価方法：何を使って評価するのか</p> <p>(1) 定期考査→年4回、定期考査を実施します。授業での学習内容から出題します。</p> <p>(2) 確認演習プリント→単元毎に本文内容のプリントを実施します。</p> <p>(3) 学期中の課題→授業理解の確認のための宿題を課します。</p>
<p>評価における定期考査の割合</p> <p>70 %</p>

4 この科目の評価の観点について

<p>評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか</p> <p>(1) 関心・意欲・態度</p> <p>問題を解決しようとする意欲、つまり考えようとする態度を重視します。</p> <p>(2) 思考・判断</p> <p>合理的であるか否かが評価の軸となります。恣意的な思考は評価しません。</p> <p>(3) 技能・表現</p> <p>口頭・文章ともに、受け手に配慮した簡明な表現であることを重視します。</p> <p>(4) 知識・理解</p> <p>定着度だけではなく、知識を得ようとする日常の取り組みを評価します。</p>
--

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか			重視する評価の観点				CHECK	
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
		古文編Ⅱ 説話 古今著聞集 『源義家、衣川にて安倍貞任と連歌のこと』 	本文の読解を通じて、古文特有の語を理解し、合わせて必須の文法事項の習得を目指します。中世に作られた説話の魅力に触れ、現代まで読み継がれている要素やそれが生み出された背景などについても考え、古典文学に一層親しむ態度を育てます。	●	●	●	●	
		漢文編Ⅱ 逸話と寓話 『長安何如日遠』 『不死之薬』 	漢文の逸話や寓話に見られる機知に富んだやりとりを学び、その魅力を理解します。また発言や行為の内容を読み取り、その生き方や考え方を理解し、自らのものの見方、考え方を深める契機とします。	●	●	●	●	
		古文編Ⅱ 随筆枕草子 『うれしきもの』 	古来の随筆文学に触れ、その魅力を味わいます。語句・意味を正確に理解し、作者の機知に富んだ発想や柔軟な思考の展開の様子を鑑賞します。また、女流作家ならではのきめ細やかな感覚的な表現を理解し、作者の考えや心情の理解を目指します。	●	●	●	●	
		古文編Ⅱ 物語(1) 大鏡『三船の才』 	歴史物語としての特色である、簡潔で力強い文章を読み、作者の的確な描写と批判的な態度を読み取る。また、敬語の用い方から、登場人物の関係を正しく捉える。和歌の修辞の確認をする。	●	●	●	●	
		漢文編Ⅱ 史伝 荊軻 『(一) 風蕭蕭兮易水寒』 	長文の漢文に読み慣れ、読解・鑑賞する能力の増進を目指します。『史記』の文章表現の妙味やそこに用いられている故事成語などを理解し、言語感覚を豊かにします。	●	●	●	●	
		古文編Ⅱ 日記紫式部日記 『和泉式部と清少納言』 	「文学」としての日記文学に触れ、多様な語句の解釈や、女流作家ならではのきめ細やかな感覚的な表現を理解し、作者の考えや心情の理解を目指します。また、『蜻蛉日記』『和泉式部日記』にも合わせて触れ、その歴史的な背景や、『枕草子』『源氏物語』などの作品にどのような影響を与えたのかも合わせて学びます。	●	●	●	●	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
		漢文編Ⅱ 文章 韓愈『師説』  入試対策問題演習	中国の文学作品に親しみ、その文学的な表現を理解します。漢文特有の言い回し句形に習熟し、正確に読解する態度を養います。また、作者の思想や人生に対する深い洞察を読み取り、その人生観や人間性についても理解を深めます。 副教材を用いた演習を行い、入試に対応できる読解力の完成を目指します。ただの答え合わせにならないよう、予習、復習を徹底し、解答作成までの手順を身につけます。	●	●	●	●	
				●	●	●	●	

1 この科目の構成について

教科	国語科	科目	古典B	単位	3	単位
対象コース	アクティブカレッジ	コース	対象クラス	3年	2B組	
使用教科書	精選 古典B 改訂版 (大修館書店)					
使用副教材	体系古典文法 (数研出版) 新明説漢文 (尚文出版) シンプルスタイル 古文単語 301 (尚文出版)					

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標 ：この科目を学習して何を身につけてほしいのか 古典文法や漢文の句法を使いこなして、古文・漢文を読解する能力を養います。また、古典作品の読解を通して、先人のものの見方や感じ方を知り、広い考え方を身につけます。
学習内容 ：この科目で学習する大まかな内容 以下の二つの分野を学びます。 (1) 古文…正確な文語文法を習得し、語彙力を養うことによって、古文を読み解く力を身につけます。 (2) 漢文…訓読法・基本的な句法を使って、漢文を読み解く力を身につけます。
学習方法 ：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか (1) 学校 授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。正答に至るまでに必要な事項や思考の手順をノートに書きためましょう。なぜその答えになるのかということ論理的に捉えることが大切です。問題文(口頭での質問も含む)の意図を読み取り、考え、答えを表現する方法を授業で体得しましょう。 (2) 家庭 授業の予習と復習、暗記にあてましょう。知識を定着させる場が家庭学習です。予習や暗記をした知識を用いて授業内、で考えます。また、授業で得た知識を確実なものとするために、振り返りとして文法の暗記をしましょう。授業をとおして学んだことを用いて文章の内容を吟味できるようにしましょう。

3 この科目の評価方法について

評価方法 ：何をを使って評価するのか (1) 定期考査→年4回、定期考査を実施します。授業での学習内容から出題します。 (2) 確認演習プリント→単元毎に本文内容のプリントを実施します。 (3) 学期中の課題→授業理解の確認のための宿題を課します。
--

4 この科目の評価の観点について

評価の観点 ：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか (1) 関心・意欲・態度 問題を解決しようとする意欲、つまり考えようとする態度を重視します。 (2) 思考・判断 合理的であるか否かが評価の軸となります。恣意的な思考は評価しません。 (3) 技能・表現 口頭・文章ともに、受け手に配慮した簡明な表現であることを重視します。 (4) 知識・理解 定着度だけでなく、知識を得ようとする日常の取り組みを評価します。

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
1	4	古文編Ⅱ 説話 古今著聞集 『源義家、衣川にて安倍貞任と連歌のこと』 	本文の読解を通じて、古文特有の語を理解し、合わせて必須の文法事項の習得を目指します。中世に作られた説話の魅力に触れ、現代まで読み継がれている要素やそれが生み出された背景などについても考え、古典文学に一層親しむ態度を育てます。	●	●	●	●	
		漢文編Ⅱ 逸話と寓話 『長安何如日遠』 『不死之薬』 	漢文の逸話や寓話に見られる機知に富んだやりとりを学び、その魅力を理解します。また発言や行為の内容を読み取り、その生き方や考え方を理解し、自らのものの見方、考え方を深める契機とします。	●	●	●	●	
	5	古文編Ⅱ 随筆枕草子 『うれしきもの』 	古来の随筆文学に触れ、その魅力を味わいます。語句・意味を正確に理解し、作者の機知に富んだ発想や柔軟な思考の展開の様子を鑑賞します。また、女流作家ならではのきめ細やかな感覚的な表現を理解し、作者の考えや心情の理解を目指します。	●	●	●	●	
6	6	古文編Ⅱ 物語(1) 大鏡『三船の才』 	歴史物語としての特色である、簡潔で力強い文章を読み、作者の的確な描写と批判的な態度を読み取る。また、敬語の用い方から、登場人物の関係を正しく捉える。和歌の修辞の確認をする。	●	●	●	●	
		漢文編Ⅱ 史伝 荊軻 『(一) 風蕭蕭兮易水寒』 	長文の漢文に読み慣れ、読解・鑑賞する能力の増進を目指します。『史記』の文章表現の妙味やそこに用いられている故事成語などを理解し、言語感覚を豊かにします。	●	●	●	●	
	7	古文編Ⅱ 日記紫式部日記 『和泉式部と清少納言』 	「文学」としての日記文学に触れ、多様な語句の解釈や、女流作家ならではのきめ細やかな感覚的な表現を理解し、作者の考えや心情の理解を目指します。また、『蜻蛉日記』『和泉式部日記』にも合わせて触れ、その歴史的な背景や、『枕草子』『源氏物語』などの作品にどのような影響を与えたのかも合わせて学びます。	●	●	●	●	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
2	8	漢文編Ⅱ 文章	中国の文学作品に親しみ、その文学的な表現を理解します。漢文特有の言い回し句形に習熟し、正確に読解する態度を養います。また、作者の思想や人生に対する深い洞察を読み取り、その人生観や人間性についても理解を深めます。	●	●	●	●	
	9	韓愈『師説』						
								
	10	入試対策問題演習	副教材を用いた演習を行い、入試に対応できる読解力の完成を目指します。ただの答え合わせにならないよう、予習、復習を徹底し、解答作成までの手順を身につけます。	●	●	●	●	

1 この科目の構成について

教科	国語科	科目	古典B	単位	2	単位
対象コース	アクティブカレッジ	コース	対象クラス	3年	2R	組
使用教科書	精選 古典B 改訂版 (大修館書店)					
使用副教材	体系古典文法 (数研出版) 新明説漢文 (尚文出版) シンプルスタイル 古文単語301 (尚文出版)					

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標 ：この科目を学習して何を身につけてほしいのか 古典文法や漢文の句法を使いこなして、古文・漢文を読解する能力を養います。また、古典作品の読解を通して、先人のものの見方や感じ方を知り、広い考え方を身につけます。
学習内容 ：この科目で学習する大まかな内容 以下の二つの分野を学びます。 (1) 古文…正確な文語文法を習得し、語彙力を養うことによって、古文を読み解く力を身につけます。 (2) 漢文…訓読法・基本的な句法を使って、漢文を読み解く力を身につけます。
学習方法 ：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか (1) 学校 授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。正答に至るまでに必要な事項や思考の手順をノートに書かためましょう。なぜその答えになるのかということを論理的に捉えることが大切です。問題文(口頭での質問も含む)の意図を読み取り、考え、答えを表現する方法を授業で体得しましょう。 (2) 家庭 授業の予習と復習、暗記にあてましょう。知識を定着させる場が家庭学習です。予習や暗記をした知識を用いて授業内、で考えます。また、授業で得た知識を確実なものとするために、振り返りとして文法の暗記をしましょう。授業をとおして学んだことを用いて文章の内容を吟味できるようにしましょう。

3 この科目の評価方法について

評価方法 ：何を使って評価するのか (1) 定期考査→年4回、定期考査を実施します。授業での学習内容から出題します。 (2) 確認演習プリント→単元毎に本文内容のプリントを実施します。 (3) 学期中の課題→授業理解の確認のための宿題を課します。

4 この科目の評価の観点について

評価の観点 ：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか (1) 関心・意欲・態度 問題を解決しようとする意欲、つまり考えようとする態度を重視します。 (2) 思考・判断 合理的であるか否かが評価の軸となります。恣意的な思考は評価しません。 (3) 技能・表現 口頭・文章ともに、受け手に配慮した簡明な表現であることを重視します。 (4) 知識・理解 定着度だけでなく、知識を得ようとする日常の取り組みを評価します。

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか			重視する評価の観点				CHECK	
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
1	4	古文編Ⅱ 説話 古今著聞集 『源義家、衣川にて安倍貞任と連歌のこと』 	本文の読解を通じて、古文特有の語を理解し、合わせて必須の文法事項の習得を目指します。中世に作られた説話の魅力に触れ、現代まで読み継がれている要素やそれが生み出された背景などについても考え、古典文学に一層親しむ態度を育てます。	●	●	●	●	
		漢文編Ⅱ 逸話と寓話 『長安何如日遠』 『不死之薬』 	漢文の逸話や寓話に見られる機知に富んだやりとりを学び、その魅力を理解します。また発言や行為の内容を読み取り、その生き方や考え方を理解し、自らのものの見方、考え方を深める契機とします。	●	●	●	●	
	5	古文編Ⅱ 随筆枕草子 『うれしきもの』 	古来の随筆文学に触れ、その魅力を味わいます。語句・意味を正確に理解し、作者の機知に富んだ発想や柔軟な思考の展開の様子を鑑賞します。また、女流作家ならではのきめ細やかな感覚的な表現を理解し、作者の考えや心情の理解を目指します。	●	●	●	●	
6	6	古文編Ⅱ 物語(1) 大鏡『三船の才』 	歴史物語としての特色である、簡潔で力強い文章を読み、作者の的確な描写と批判的な態度を読み取る。また、敬語の用い方から、登場人物の関係を正しく捉える。和歌の修辞の確認をする。	●	●	●	●	
		漢文編Ⅱ 史伝 荊軻 『(一) 風蕭蕭兮易水寒』 	長文の漢文に読み慣れ、読解・鑑賞する能力の増進を目指します。『史記』の文章表現の妙味やそこに用いられている故事成語などを理解し、言語感覚を豊かにします。	●	●	●	●	
	7	古文編Ⅱ 日記紫式部日記 『和泉式部と清少納言』 	「文学」としての日記文学に触れ、多様な語句の解釈や、女流作家ならではのきめ細やかな感覚的な表現を理解し、作者の考えや心情の理解を目指します。また、『蜻蛉日記』『和泉式部日記』にも合わせて触れ、その歴史的な背景や、『枕草子』『源氏物語』などの作品にどのような影響を与えたのかも合わせて学びます。	●	●	●	●	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点			CHECK	
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
2	8	漢文編Ⅱ 文章	中国の文学作品に親しみ、その文学的な表現を理解します。漢文特有の言い回し句形に習熟し、正確に読解する態度を養います。また、作者の思想や人生に対する深い洞察を読み取り、その人生観や人間性についても理解を深めます。	●	●	●	●	
	9	韓愈『師説』						
								
	10	入試対策問題演習	副教材を用いた演習を行い、入試に対応できる読解力の完成を目指します。ただの答え合わせにならないよう、予習、復習を徹底し、解答作成までの手順を身につけます。	●	●	●	●	

1 この科目の構成について

教科	国語科	科目	古典B	単位	3 単位
対象コース	カレッジ	コース	対象クラス	3 年	3 組
使用教科書	精選 古典B 改訂版 (大修館書店)				
使用副教材	体系古典文法 (数研出版) 新明説漢文 (尚文出版) シンプルスタイル 古文単語301 (尚文出版)				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標 ：この科目を学習して何を身につけてほしいのか 古典文法や漢文の句法を使いこなして、古文・漢文を読解する能力を養います。また、古典作品の読解を通して、先人のものの見方や感じ方を知り、広い考え方を身につけます。
学習内容 ：この科目で学習する大まかな内容 以下の二つの分野を学びます。 (1) 古文…正確な文語文法を習得し、語彙力を養うことによって、古文を読み解く力を身につけます。 (2) 漢文…訓読法・基本的な句法を使って、漢文を読み解く力を身につけます。
学習方法 ：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか (1) 学校 授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。正答に至るまでに必要な事項や思考の手順をノートに書きためましょう。なぜその答えになるのかということ論理的に捉えることが大切です。問題文(口頭での質問も含む)の意図を読み取り、考え、答えを表現する方法を授業で体得しましょう。 (2) 家庭 授業の予習と復習、暗記にあてましょう。知識を定着させる場が家庭学習です。予習や暗記をした知識を用いて授業内、で考えます。また、授業で得た知識を確実なものとするために、振り返りとして文法の暗記をしましょう。授業をとおして学んだことを用いて文章の内容を吟味できるようにしましょう。

3 この科目の評価方法について

評価方法 ：何をを使って評価するのか (1) 定期考査→年4回、定期考査を実施します。授業での学習内容から出題します。 (2) 確認演習プリント→単元毎に本文内容のプリントを実施します。 (3) 学期中の課題→授業理解の確認のための宿題を課します。
--

4 この科目の評価の観点について (改行は Alt + Enter)

評価の観点 ：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか (1) 関心・意欲・態度 問題を解決しようとする意欲、つまり考えようとする態度を重視します。 (2) 思考・判断 合理的であるか否かが評価の軸となります。恣意的な思考は評価しません。 (3) 技能・表現 口頭・文章ともに、受け手に配慮した簡明な表現であることを重視します。 (4) 知識・理解 定着度だけでなく、知識を得ようとする日常の取り組みを評価します。

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
		古文編Ⅱ 説話 古今著聞集 『源義家、衣川にて安倍貞任と連歌のこと』 	本文の読解を通じて、古文特有の語を理解し、合わせて必須の文法事項の習得を目指します。中世に作られた説話の魅力に触れ、現代まで読み継がれている要素やそれが生み出された背景などについても考え、古典文学に一層親しむ態度を育てます。	●	●	●	●	
		漢文編Ⅱ 逸話と寓話 『長安何如日遠』 『不死之薬』 	漢文の逸話や寓話に見られる機知に富んだやりとりを学び、その魅力を理解します。また発言や行為の内容を読み取り、その生き方や考え方を理解し、自らのものの方、考え方を深める契機とします。	●	●	●	●	
		古文編Ⅱ 随筆枕草子 『うれしきもの』 	古来の随筆文学に触れ、その魅力を味わいます。語句・意味を正確に理解し、作者の機知に富んだ発想や柔軟な思考の展開の様子を鑑賞します。また、女流作家ならではのきめ細やかな感覚的な表現を理解し、作者の考えや心情の理解を目指します。	●	●	●	●	
		古文編Ⅱ 物語(1) 大鏡『三船の才』 	歴史物語としての特色である、簡潔で力強い文章を読み、作者の的確な描写と批判的な態度を読み取る。また、敬語の使い方から、登場人物の関係を正しく捉える。和歌の修辞の確認をする。	●	●	●	●	
		漢文編Ⅱ 史伝 荆軻 『(一) 風蕭蕭兮易水寒』 	長文の漢文に読み慣れ、読解・鑑賞する能力の増進を目指します。『史記』の文章表現の妙味やそこに用いられている故事成語などを理解し、言語感覚を豊かにします。	●	●	●	●	

		古文編Ⅱ 日記紫式部日記 『和泉式部と清少納言』 	「文学」としての日記文学に触れ、多様な語句の解釈や、女流作家ならではのきめ細やかな感覚的な表現を理解し、作者の考えや心情の理解を目指します。また、『蜻蛉日記』『和泉式部日記』にも合わせて触れ、その歴史的な背景や、『枕草子』『源氏物語』などの作品にどのような影響を与えたのかも合わせて学びます。	●	●	●	●		
年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか								重視する評価の観点	CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×	
		漢文編Ⅱ 文章 韓愈『師説』  入試対策問題演習	中国の文学作品に親しみ、その文学的な表現を理解します。漢文特有の言い回し句形に習熟し、正確に読解する態度を養います。また、作者の思想や人生に対する深い洞察を読み取り、その人生観や人間性についても理解を深めます。 副教材を用いた演習を行い、入試に対応できる読解力の完成を目指します。ただの答え合わせにならないよう、予習、復習を徹底し、解答作成までの手順を身につけます。	●	●	●	●		
				●	●	●	●		

1 この科目の構成について

教科	国語科	科目	古典B	単位	2 単位
対象コース	カレッジ	コース	対象クラス	3 年	4C理系 組
使用教科書	精選 古典B 改訂版 (大修館書店)				
使用副教材	体系古典文法 (数研出版) 新明説漢文 (尚文出版) シンプルスタイル 古文単語301 (尚文出版)				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標 ：この科目を学習して何を身につけてほしいのか 古典文法や漢文の句法を使いこなして、古文・漢文を読解する能力を養います。また、古典作品の読解を通して、先人のものの見方や感じ方を知り、広い考え方を身につけます。
学習内容 ：この科目で学習する大まかな内容 以下の二つの分野を学びます。 (1) 古文…正確な文語文法を習得し、語彙力を養うことによって、古文を読み解く力を身につけます。 (2) 漢文…訓読法・基本的な句法を使って、漢文を読み解く力を身につけます。
学習方法 ：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか (1) 学校 授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。正答に至るまでに必要な事項や思考の手順をノートに書きためましょう。なぜその答えになるのかということを論理的に捉えることが大切です。問題文(口頭での質問も含む)の意図を読み取り、考え、答えを表現する方法を授業で体得しましょう。 (2) 家庭 授業の予習と復習、暗記にあてましょう。知識を定着させる場が家庭学習です。予習や暗記をした知識を用いて授業内、で考えます。また、授業で得た知識を確実なものとするために、振り返りとして文法の暗記をしましょう。授業をとおして学んだことを用いて文章の内容を吟味できるようにしましょう。

3 この科目の評価方法について

評価方法 ：何を使って評価するのか (1) 定期考査→年4回、定期考査を実施します。授業での学習内容から出題します。 (2) 確認演習プリント→単元毎に本文内容のプリントを実施します。 (3) 学期中の課題→授業理解の確認のための宿題を課します。
評価における定期考査の割合 70 %

4 この科目の評価の観点について (改行は Alt + Enter)

評価の観点 ：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか (1) 関心・意欲・態度 問題を解決しようとする意欲、つまり考えようとする態度を重視します。 (2) 思考・判断 合理的であるか否かが評価の軸となります。恣意的な思考は評価しません。 (3) 技能・表現 口頭・文章ともに、受け手に配慮した簡明な表現であることを重視します。 (4) 知識・理解 定着度だけではなく、知識を得ようとする日常の取り組みを評価します。
--

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
一	4	古文編Ⅱ 説話 古今著聞集 『源義家、衣川にて安倍貞任と連歌のこと』 	本文の読解を通じて、古文特有の語を理解し、合わせて必須の文法事項の習得を目指します。中世に作られた説話の魅力に触れ、現代まで読み継がれている要素やそれが生み出された背景などについても考え、古典文学に一層親しむ態度を育てます。	●	●	●	●	
	5	漢文編Ⅱ 逸話と寓話 『不死之薬』 	漢文の逸話や寓話に見られる機知に富んだやりとりを学び、その魅力を理解します。また発言や行為の内容を読み取り、その生き方や考え方を理解し、自らのものの見方、考え方を深める契機とします。	●	●	●	●	
	6 7	古文編Ⅱ 随筆枕草子 『うれしきもの』 	古来の随筆文学に触れ、その魅力を味わいます。語句・意味を正確に理解し、作者の機知に富んだ発想や柔軟な思考の展開の様子を鑑賞します。また、女流作家ならではのきめ細やかな感覚的な表現を理解し、作者の考えや心情の理解を目指します。	●	●	●	●	
	8	古文編Ⅱ 物語(1) 大鏡『三船の才』 	歴史物語としての特色である、簡潔で力強い文章を読み、作者の的確な描写と批判的な態度を読み取る。また、敬語の使い方から、登場人物の関係を正しく捉える。和歌の修辞の確認をする。	●	●	●	●	
二	9	漢文編Ⅱ 史伝 荊軻 『(一) 風蕭蕭兮易水寒』 	長文の漢文に読み慣れ、読解・鑑賞する能力の増進を目指します。『史記』の文章表現の妙味やそこに用いられている故事成語などを理解し、言語感覚を豊かにします。	●	●	●	●	
	10							

1 1	<p>古文編Ⅱ 日記紫式部日記 『和泉式部と清少納言』</p> 	<p>「文学」としての日記文学に触れ、多様な語句の解釈や、女流作家ならではのきめ細やかな感覚的な表現を理解し、作者の考えや心情の理解を目指します。また、『蜻蛉日記』『和泉式部日記』にも合わせて触れ、その歴史的な背景や、『枕草子』『源氏物語』などの作品にどのような影響を与えたのかも合わせて学びます。</p>	●	●	●	●
1 2	<p>漢文編Ⅱ 文章 韓愈『師説』</p> 	<p>中国の文学作品に親しみ、その文学的な表現を理解します。漢文特有の言い回し句形に習熟し、正確に読解する態度を養います。また、作者の思想や人生に対する深い洞察を読み取り、その人生観や人間性についても理解を深めます。</p>	●	●	●	●
三 1	<p>入試対策問題演習</p>	<p>副教材を用いた演習を行い、入試に対応できる読解力の完成を目指します。ただの答え合わせにならないよう、予習、復習を徹底し、解答作成までの手順を身につけます。</p>			●	●

1 この科目の構成について

教科	国語科	科目	古典B	単位	2	単位
対象コース	情報ビジネス	コース	対象クラス	3年	5組	
使用教科書	精選 古典B 改訂版 (大修館書店)					
使用副教材	体系古典文法 (数研出版) 新明説漢文 (尚文出版) シンプルスタイル 古文単語301 (尚文出版)					

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標 ：この科目を学習して何を身につけてほしいのか 古典文法や漢文の句法を使いこなして、古文・漢文を読解する能力を養います。また、古典作品の読解を通して、先人のものの見方や感じ方を知り、広い考え方を身に付けます。
学習内容 ：この科目で学習する大まかな内容 以下の二つの分野を学びます。 (1) 古文…正確な文語文法を習得し、語彙力を養うことによって、古文を読み解く力を身に付けます。 (2) 漢文…訓読法・基本的な句法を使って、漢文を読み解く力を身に付けます。
学習方法 ：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか (1) 学校 「考える手順」を身に付けることが最も大切です。正答に至るまでの思考の手順をノートに書きためましょう。問題文 (口頭での質問も含む) の意図を読み取り、考え、答えを表現する方法を授業で体得していきましょう。 (2) 家庭 家庭学習の時間は、暗記とドリル学習にあてましょう。知識を定着させる場が家庭学習です。家庭で得た知識を用いて授業で思考することが、最も効果的な学習方法となります。

3 この科目の評価方法について

評価方法 ：何を使って評価するのか (1) 定期考査→年4回、定期考査を実施します。授業での学習内容から出題します。 (2) 授業用ノート→授業時の宿題、板書事項の内容について、提出期限内に点検・評価します。 (3) 長期休暇中の課題→古文・漢文の演習問題を宿題として課します。 (4) 学期中の課題→授業理解の確認のため、プリント等の宿題を課します。

4 この科目の評価の観点について

評価の観点 ：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか (1) 関心・意欲・態度 問題を解決しようとする意欲、つまり考えようとする態度を重視します。 (2) 思考・判断 合理的であるか否かが評価の軸となります。恣意的な思考は評価しません。 (3) 技能・表現 口頭・文章ともに、受け手に配慮した簡明な表現であることを重視します。 (4) 知識・理解 定着度だけではなく、知識を得ようとする日常の取り組みを評価します。
--

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
1	4	十訓抄 『大江山いくのの道』	古文特有の語を理解し、合わせて必須の文法事項の習得を目指します。中世説話に触れ、現代まで読み継がれている要素やそれが生み出された背景などについても考え、古典に親しむ態度を育てます。	●		●	●	
	5	逸話と寓話 『長安何如日遠』 『不死之薬』 	漢文の逸話や寓話に見られる機知に富んだやりとりを学び、その魅力を理解します。また発言や行為の内容を読み取り、その生き方や考え方を理解し、自らのものの見方、考え方を深める契機とします。	●	●	●	●	
	6	枕草子 『うれしきもの』	古来の随筆文学に触れ、その魅力を味わいます。語句・意味を正確に理解し、作者の機知に富んだ発想や柔軟な思考の展開の様子を鑑賞します。また、女流作家ならではのきめ細やかな感覚的な表現を理解し、作者の考えや心情の理解を目指します。	●	●	●	●	
	7	大鏡 『三船の才』	歴史物語としての特色である、簡潔で力強い文章を読み、作者の的確な描写と批判的な態度を読み取る。また、敬語の使い方から、登場人物の関係を正しく捉える。和歌の修辞の確認をする。	●	●		●	
2	8							
	9	荊軻 『風蕭蕭兮易水寒』	長文の漢文に読み慣れ、読解・鑑賞する能力の増進を目指します。『史記』の文章表現の妙味やそこに用いられている故事成語などを理解し、言語感覚を豊かにします。	●	●	●	●	
	10	紫式部日記 『和泉式部と清少納言』 	多様な語句の解釈や、女流作家ならではのきめ細やかな感覚的な表現を理解し、作者の考えや心情の理解を目指します。また、他の日記作品にも合わせて触れ、その歴史的な背景や、『枕草子』『源氏物語』などの作品にどのような影響を与えたのかも合わせて学びます。	●		●	●	
3	11							
	12	文章 『師説（韓愈）』 	中国の文学作品に親しみ、その文学的な表現を理解します。漢文特有の言い回し句形に習熟し、正確に読解する態度を養います。また、作者の思想や人生に対する深い洞察を読み取り、その人生観や人間性についても理解を深めます。	●		●	●	
	1							

1 この科目の構成について

教科	国語科	科目	古典B	単位	2	単位	
対象コース	美術	コース	対象クラス	3	年	6	組
使用教科書	精選 古典B 改訂版 (大修館書店)						
使用副教材	体系古典文法 (数研出版) 新明説漢文 (尚文出版) シンプルスタイル 古文単語301 (尚文出版)						

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標 ：この科目を学習して何を身につけてほしいのか 古典文法や漢文の句法を使いこなして、古文・漢文を読解する能力を養います。また、古典作品の読解を通して、先人のものの見方や感じ方を知り、広い考え方を身に付けます。
学習内容 ：この科目で学習する大まかな内容 以下の二つの分野を学びます。 (1) 古文…正確な文語文法を習得し、語彙力を養うことによって、古文を読み解く力を身に付けます。 (2) 漢文…訓読法・基本的な句法を使って、漢文を読み解く力を身に付けます。
学習方法 ：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか (1) 学校 「考える手順」を身に付けることが最も大切です。正答に至るまでの思考の手順をノートに書きためましょう。問題文 (口頭での質問も含む) の意図を読み取り、考え、答えを表現する方法を授業で体得していきましょう。 (2) 家庭 家庭学習の時間は、暗記とドリル学習にあてましょう。知識を定着させる場が家庭学習です。家庭で得た知識を用いて授業で思考することが、最も効果的な学習方法となります。

3 この科目の評価方法について

評価方法 ：何を使って評価するのか (1) 定期考査→年4回、定期考査を実施します。授業での学習内容から出題します。 (2) 授業用ノート→授業時の宿題、板書事項の内容について、提出期限内に点検・評価します。 (3) 長期休暇中の課題→古文・漢文の演習問題を宿題として課します。 (4) 学期中の課題→授業理解の確認のため、プリント等の宿題を課します。
評価における定期考査の割合 70 %

4 この科目の評価の観点について

評価の観点 ：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか (1) 関心・意欲・態度 問題を解決しようとする意欲、つまり考えようとする態度を重視します。 (2) 思考・判断 合理的であるか否かが評価の軸となります。恣意的な思考は評価しません。 (3) 技能・表現 口頭・文章ともに、受け手に配慮した簡明な表現であることを重視します。 (4) 知識・理解 定着度だけではなく、知識を得ようとする日常の取り組みを評価します。
--

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK	
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×	
1	4	十訓抄 『大江山いくのの道』	古文特有の語を理解し、合わせて必須の文法事項の習得を目指します。中世説話に触れ、現代まで読み継がれている要素やそれが生み出された背景などについても考え、古典に親しむ態度を育てます。	●		●	●		
	5	逸話と寓話 『長安何如日遠』 『不死之薬』 	漢文の逸話や寓話に見られる機知に富んだやりとりを学び、その魅力を理解します。また発言や行為の内容を読み取り、その生き方や考え方を理解し、自らのものの見方、考え方を深める契機とします。	●	●	●	●		
	6	枕草子 『うれしきもの』	古来の随筆文学に触れ、その魅力を味わいます。語句・意味を正確に理解し、作者の機知に富んだ発想や柔軟な思考の展開の様子を鑑賞します。また、女流作家ならではのきめ細やかな感覚的な表現を理解し、作者の考えや心情の理解を目指します。	●	●	●	●		
	7	大鏡 『三船の才』	歴史物語としての特色である、簡潔で力強い文章を読み、作者の的確な描写と批判的な態度を読み取る。また、敬語の使い方から、登場人物の関係を正しく捉える。和歌の修辞の確認をする。	●	●		●		
	2	8							
		9	荊軻 『風蕭蕭兮易水寒』	長文の漢文に読み慣れ、読解・鑑賞する能力の増進を目指します。『史記』の文章表現の妙味やそこに用いられている故事成語などを理解し、言語感覚を豊かにします。	●	●	●	●	
		10	紫式部日記 『和泉式部と清少納言』 	多様な語句の解釈や、女流作家ならではのきめ細やかな感覚的な表現を理解し、作者の考えや心情の理解を目指します。また、他の日記作品にも合わせて触れ、その歴史的な背景や、『枕草子』『源氏物語』などの作品にどのような影響を与えたのかも合わせて学びます。	●		●	●	
3	11								
	12	文章 『師説（韓愈）』 	中国の文学作品に親しみ、その文学的な表現を理解します。漢文特有の言い回し句形に習熟し、正確に読解する態度を養います。また、作者の思想や人生に対する深い洞察を読み取り、その人生観や人間性についても理解を深めます。	●		●	●		
	1								

1 この科目の構成について

教科	国語	科目	表現演習	単位	1	単位
対象コース	カレッジコース文系	コース	対象クラス	3年	3組	
使用教科書	小論文実力養成講座、ステップアップ小論文（第一学習社）					
使用副教材	特化型小論文チャレンジノート〈志望理由・自己PR編〉（第一学習社）					

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標 ：この科目を学習して何を身につけてほしいのか 自分の考えを相手に正しく伝えることを目的とします。文章表現の基礎から始まり、より充実した内容の小論文の書き方を身に付けていきます。
学習内容 ：この科目で学習する大まかな内容 様々な問題について、自分の考えを持ち、それを理解してもらうためにはどのような表現方法をとるのが一番適切かを、実際に文章を書くことによって学びます。
学習方法 ：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか (1) 学校 テーマに対するアプローチ、考え方を確認しながら、文章の書き方や論の展開の仕方を修得します。 (2) 家庭 家庭では、新聞や雑誌などのメディアを通じて、課題に関する情報を集め、学校の演習の時間にそれを活用して書くこととなります。

3 この科目の評価方法について

評価方法 ：何をを使って評価するのか 原稿用紙の使い方・誤字脱字の有無・書き方のパターン・内容などを教科担当者が読み、一人ひとりの課題文を添削し、ABC評価をつけて返却します。定期考査は実施しません。
評価における定期考査の割合 70 %

4 この科目の評価の観点について

評価の観点 ：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか (1) 関心・意欲・態度 結論を導き出し、最後まで書き終えようとする態度を評価します。 (2) 思考・判断 結論を導くために合理的、客観的な例を示せるかを評価します。 (3) 技能・表現 結論を理解してもらうために読み手を考えた表現を示せるかを評価します。 (4) 知識・理解 正しい表現技法、文字、言葉遣いができているかを評価します。
--

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK	
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×	
一	4	小論文・作文とは何か	作文と小論文の違いを認識し、小論文についての基礎的な考え方を確認します。	●	●				
		書く材料を見つける	絵や写真を見て、自分はその中の何を表現するかを考えます。その内容が状況を的確につかめているかを考えます。	●	●		●		
		設問のポイントを読み取る	自分の見方、考え方を述べる際に、設問の要求に合っているものかを考えます。	●	●		●		
		別の視点からも考える	物事の良い面、悪い面を対立的にとらえることによって物事を深く見つめ、問題解決へと導くことができるようにします。	●	●		●		
	5	原因を明らかにする	原因や背景を分析することによって、書く内容を深めます。	●		●			
		文章内容を要約する	文章全体の要旨を押さえ、主題を把握できるようにします。	●	●	●	●		
		文章の基礎	仮名づかい・送り仮名・文字の使い分け・句読点／符号・同音異義語・同訓異字を学びます。	●	●	●			
	二	6	小論文はどう書くのか	小論文を書くプロセスを確認します。	●	●			
			(1) 自分について (2) 志望理由・自己PR	身近な問題、社会的問題二つの場合に合わせた書き方で書きます。	●	●		●	
		7	(3) 自分の考えを明確にする	課題文を正確に読み取り、それを活かした論述を展開します。		●	●	●	
		8	(4) 効果的な段落構成	読み手に効果的に自分の意見伝えるために、効果的な段落構成で論述する練習をします。	●	●	●		
			(5) 具体的説明で根拠を示す	原因や理由の説明が必要であることを理解します。適切な具体例の探し方を学びます。	●	●	●		
9	文章表現の実践	論旨・詳述・題材選択・構想表を適切な活用法を実践します。	●	●	●				
		まとめ、しめくくりを考える 推敲の仕方と評価の基準	推敲の仕方や評価の基準を知ることによって、自分の文章を客観的に見る力を養います。		●	●	●		

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか			重視する評価の観点				CHECK			
学期	月	学習の項目	学習の内容			関	思	技	知	○△×
	10	演習	入試過去問を実際に書いてみることに より、完成度の高い小論文を目指しま す。(データ型、要約問題付課題文 型、融合型など) ◎テーマに合わせて道德教育を実施。			●	●	●	●	
		(1) 看護・福祉・医療								
		(2) 情報化社会								
		(3) 教育問題								
		(4) 食生活								
		(5) 科学								
		(6) 法律								
		(7) 社会問題								

1 この科目の構成について

教科	国語	科目	国語演習	単位	2	単位
対象コース	カレッジコース理系 (M C)	コース	対象クラス	3 年	4 組	
使用教科書	小論文実力養成講座、ステップアップ小論文 (第一学習社)					
使用副教材	特化型小論文チャレンジノート〈志望理由・自己PR編〉 (第一学習社) 特化型小論文チャレンジノート〈看護・福祉・医療編〉 (第一学習社)					

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標 ：この科目を学習して何を身につけてほしいのか 自分の考えを相手に正しく伝えることを目的とします。文章表現の基礎から始まり、より充実した内容の小論文の書き方を身に付けていきます。
学習内容 ：この科目で学習する大まかな内容 様々な問題について、自分の考えを持ち、それを理解してもらうためにはどのような表現方法をとるのが一番適切かを、実際に文章を書くことによって学びます。
学習方法 ：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか (1) 学校 テーマに対するアプローチ、考え方を確認しながら、文章の書き方や論の展開の仕方を修得します。 (2) 家庭 家庭では、新聞や雑誌などのメディアを通じて、課題に関する情報を集め、学校の演習の時間にそれを活用して書くこととなります。

3 この科目の評価方法について (改行は Alt + Enter)

評価方法 ：何を使って評価するのか 原稿用紙の使い方・誤字脱字の有無・書き方のパターン・内容などを教科担当者が読み、一人ひとりの課題文を添削し、ABC評価をつけて返却します。定期考査は実施しません。
評価における定期考査の割合 %

4 この科目の評価の観点について (改行は Alt + Enter)

評価の観点 ：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか (1) 関心・意欲・態度 結論を導き出し、最後まで書き終えようとする態度を評価します。 (2) 思考・判断 結論を導くために合理的、客観的な例を示せるかを評価します。 (3) 技能・表現 結論を理解してもらうために読み手を考えた表現を示せるかを評価します。 (4) 知識・理解 正しい表現技法、文字、言葉遣いができているかを評価します。
--

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
一	4	小論文・作文とは何か	作文と小論文の違いを認識し、小論文についての基礎的な考え方を確認します。	●	●			
		書く材料を見つける	絵や写真を見て、自分はその中の何を表現するかを考えます。その内容が状況を的確につかめているかを考えます。	●	●		●	
		設問のポイントを読み取る	自分の見方、考え方を述べる際に、設問の要求に合っているものかを考えます。	●	●		●	
		別の視点からも考える	物事の良い面、悪い面を対立的にとらえることによって物事を深く見詰め、問題解決へと導くことができるようにします。	●	●		●	
	5	原因を明らかにする	原因や背景を分析することによって、書く内容を深めます。	●		●		
		文章内容を要約する	文章全体の要旨を押さえ、主題を把握できるようにします。	●	●	●	●	
		文章の基礎	仮名づかい・送り仮名・文字の使い分け・句読点／符号・同音異義語・同訓異字を学びます。	●	●	●		
	6	小論文はどう書くのか	小論文を書くプロセスを確認します。	●	●			
		(1) 自分について (2) 志望理由・自己PR	身近な問題、社会的問題二つの場合に合わせた書き方で書きます。	●	●		●	
		(3) 自分の考えを明確にする	課題文を正確に読み取り、それを活かした論述を展開します。			●	●	●
二	8	(4) 効果的な段落構成	読み手に効果的に自分の意見伝えるために、効果的な段落構成で論述する練習をします。	●	●	●		
		(5) 具体的説明で根拠を示す	原因や理由の説明が必要であることを理解します。適切な具体例の探し方を学びます。	●	●	●		
	9	文章表現の実践	論旨・詳述・題材選択・構想表を適切な活用法を実践します。	●	●	●		
		まとめ、しめくくりを考える 推敲の仕方と評価の基準	推敲の仕方や評価の基準を知ることによって、自分の文章を客観的に見る力を養います。		●	●	●	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
	10	演習	<p>入試過去問を実際に書いてみることにより、完成度の高い小論文を目指します。 (データ型、要約問題付課題文型、融合型など)</p> <p>◎テーマに合わせて道德教育を実施。</p>	●	●	●	●	
		(1) 看護・福祉・医療	  					
		(2) 情報化社会						
		(3) 教育問題	 					
		(4) 食生活	 					
		(5) 科学	  					
		(6) 法律						
		(7) 社会問題	 					